



津市一身田町2843  
高田中・高等学校内  
樹心同窓会事務局  
電話 059-232-2004



ご挨拶

同窓会会長  
伊藤 清一

コロナ旋風は収束しつつあるよう  
ですが、感染の波は大、小となつて  
続いている現状です。樹心同窓会会  
員の皆様におかれましては、益々御



ご挨拶

学苑長  
梅林 久高

同窓の皆様方におかれましてはご  
健勝でお過ごしのこととお慶び申し  
上げます。四月から鷺尾尚史校長に  
代わり福山茂先生が新校長に、箕田  
昭子先生と堀元宣先生が新教頭に就  
任されました。福山校長のもと学苑  
の興隆のため全教職員一致団結して  
参りますので、一層のご支援ご協力  
をお願い申し上げます。

少子化の影響により募集が厳しい  
状況の折、お陰様で今年は短大、中  
学校、高校も定員を充足し好スタ-

健勝の事とお喜び申し上げますと  
もに、日頃の同窓会運営に対しての  
御協力厚く御礼申し上げます。

本年四月一日付けで本会におきま  
しては副会長を務めて頂いておりま  
した六年制古川達也さんに代り、眞  
岡康光(六年制昭和五十八年卒)さ  
んが、又短期大学北端一子さんに代  
り、堀内由香里(短大昭和五十四年

トを切ることができました。これも  
ひとえに先輩諸氏や在校生の活躍等  
の影響によるものと感謝しています。  
学生・生徒の皆さんの活動や学苑の  
現況については短大、中高校の校  
長よりのご報告をご高覧ください。  
今年度、本校は三重県の私学では  
初めてスーパーサイエンスハイスク  
ール(S・S・H)の認定を受けまし  
た。平成十四年に文部科学省が将来  
の国際的な科学技術人材の育成を図  
ることを目標として設立した事業で  
す。三度目の挑戦で指定を獲得。理  
科数学の先生がたの熱意と尽力とと  
もに、衆議議員田村憲久様のご助言  
により道が開かれました。  
また令和四年に進路部長の伊藤文

卒)さんが就任されました事を御報  
告させて頂きます。学苑におきまし  
ては鷺尾尚史校長が退任され、福山  
茂(六年制昭和五十九年卒)さんが  
中・高校長に就任されました事を、  
併せて御報告させて頂きます。福山  
茂校長のたいなる御活躍を期待致し  
ます。又、鷺尾前校長には在任中種々  
御世話になり御指導頂きました事を  
改めて御礼申し上げますと共に、今後  
とも御指導頂きます事をお願い申し  
上げます。  
昨年は、四年ぶりに総会を開催す  
ることができました。多数の皆様  
の御参加を得て盛大なものでした。

貴先生を中心に展開してきた環境教  
育活動がユネスコスクールに認定さ  
れ、名古屋産業大学と連携し台湾の  
高校とも二酸化炭素の排出データ  
をもとにズームで交流を深めていま  
す。今年からは高田本山専修寺の樹  
木を教材としてゼロカーボンスクー  
ルを目指す自然共生サイト登録の実  
現に向けて準備をしています。これ  
らの活動は座学では得られない知識  
が涵養され、実験、実践を通じユニ  
ークな発想や成果が得られ、さらに將  
来の進路選択にも有益になると期待  
しています。多くの課題はあります  
が全校上げて生徒一人ひとりが主体  
的に取り込み、学校がより元氣あふ  
れる一因となればと願っています。

久しぶりということもあり、席のあ  
ちこちで笑顔が見られ、同窓会はか  
くあるべきという思いを強く感じま  
した。御協力誠にありがとうございました。  
また、又高校、短大の卒業式にも  
久しぶりに出席させて頂き、同窓会  
よりの記念品を卒業生代表に手渡し  
させて頂きました。  
毎年の事ながら、今年も全国大会  
出場の手選に激励金を交付させて頂  
きました。年々出場する選手が増加  
することを嬉しく思い、後輩の努力  
に対して心より敬意を表すると共に、  
御指導して下さる先生方の労苦に  
対し、改めて感謝致します。

次に教職員の働き改革の一つとし  
てクラブ指導の軽減を図るためにラ  
イセンス保持者の外部指導員を採用  
現在、中学・高校では運動部、文化  
部合計五十七クラブが活動し、他校  
と比較しても多様なクラブがありま  
す。今年には十四クラブで二十三名の  
非常勤講師にお世話になっていま  
す。その他コロナ禍流行からデジタル社  
会が一層進みICT教育による変革が  
急速に進展していますので喫緊の課  
題として対応が求められています。  
また全国的にも不登校や欠席の多い  
生徒が増加中です。本校でもその傾  
向が見えますので、カウンセラーに  
よる支援や教育支援チームを立ち上  
げ初期対応をしていきたいと考えて

昨年事務局長の御世話により、ミ  
ニ同窓会の開催、ゴルフコンペ、俳  
句会等が開催され、多数の皆様が参  
加して頂きました。今年も又開催す  
る予定です。詳細は事務局に問い合  
わせて頂き、多数の方に参加して  
頂きますよう御案内をさせて頂きま  
す。  
今年の総会は八月四日(日)を予  
定しています。多くの皆様に参加し  
て頂き、昨年以上の会にしたいと思  
います。是非御参加ください。

います。そして普遍的には保護者の  
皆さんから信頼と期待される学校で  
あること、生徒の皆さんからは楽し  
く学びを深めることができ、仲間が  
いる学校である環境づくりを常に志  
向してまいります。それには教職員一  
同、建学の精神である仏教の教えと  
親鸞聖人の教えを日々の生活の中に  
生かしてこそ可能であると確信して  
います。  
八月同窓会が開催されますのでは  
非ご参集いただき、皆様と睦まじく  
交流を深めることができますことを  
願っています。





ご挨拶

中高校長  
福山 茂

同窓の皆さまにおかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、鷺尾尚史前校長のあとを受けて、四月から高田中・高等学校の校長に就任させていただきました。精一杯尽力させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。今年度本校は県下の私学では初めてスーパー・サイエンス・ハイスクール(S・S・H)指定校となりました。S・S・Hとは、文部科学省が科学技術分野において国際的に活躍する人材を育成するために優れた取り組みを行っている高校を指定し、支援



ご挨拶

短大学長  
清水谷正尊

樹心同窓会会員の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃は本学の教育にご協力、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年五月に新型コロナウイルス感

する事業のことです。本校では「探究」の授業として、中高全生徒が自ら選んだ課題の調査、究明に取り組み実践講座、研究講座を開講します。授業以外では、生徒は高大連携講座等の様々な特別講座に参加し、その成果として論文・スライドを作成し、作品を内外に発表します。全教科横断型として、多面的な視野、探究心、協働性の獲得を目指します。

次に昨年度の諸行事ですが、幸いにも学校生活がコロナ以前の活気ある状態に戻り、各学年の宿泊学習も大過なく実施できました。夏休み期間には中学一年生が比叡山、中学二年生は志賀高原への林間学校が二泊三日で行われました。浄土真宗の宗祖親鸞聖人が二〇年間勉強修行に励まれた比叡山で宗教的情操を養うとともに、チームワークやリーダーシップなどの社会的スキルを学び、志賀高原では、自然と直接接触する機会を得て、自然科学や生態学、環

染症が5類に引き下げられ、キャンパスにはコロナ以前の活気が戻ってきました。授業はすべて対面授業になっていきますし、食事もこれまでは教室や席を指定していましたが、現在はカフェテリアなどで自由に食事をとっています。大学祭も、コロナ禍以降四年ぶりに一般公開して二日間開催し、大いに盛り上がりました。卒業式も来賓の方々や保護者の方々にもご臨席いただき、卒業式後の謝

境学を学ぶ良い機会となりました。四年生の東京キャリア宿泊学習も一泊二日ではありますが夏休みに実施されました。初日に東京大学を訪問し、東大の先生による模擬講義、現役の東大生、本校を卒業した東大生との座談会に参加しました。二日目は国会議事堂見学を行い、本校ご卒業の田村憲久衆議院議員から激励のお言葉を頂戴し、大いに刺激を受けたことと思います。また高校I年生II類特別選抜クラスの生徒は、高田本山宗務院において一泊二日のイングリッシュ・キャンプに参加しました。五名のALTによる指導の下、オール・イングリッシュによるアクティビティ形式での英会話を学びました。普段英語のみで会話することのない生徒たちにとっては貴重な体験となったようです。

そして十月には高校II年生、五年生、中学三年生待望の修学旅行が三泊四日で開催されました。高校II年生は新門司、柳川下り、ハウステンボス、長崎平和学習、太宰府天満宮等の見学、五年生は広島平和学習、萩でのレンタサイクル、新門司、福岡、中学三年生は広島平和学習、宮島、徳島、香川に行ってきました。単なる物見遊山にならないよう、どの学年も平和学習を中心に据え、班別の自主研修を織り交ぜながら、有意義な四日間を過ごしました。生徒たちにとっては、学生生活において忘れられない思い出となったようです。

恩会も四年ぶりに開催致しました。その卒業式では、二三名の学生(こども学科一五一名、キャリア育成学科オフィスワークコース五八名、キャリア育成学科介護福祉コース二七名)が、短期大学士の学位を取得して社会へと羽ばたいていきます。就職状況も、就職率九七・八%と好調でした。その内、子ども学科では二三名が公務員(保育士・幼稚園

生は新門司、柳川下り、ハウステンボス、長崎平和学習、太宰府天満宮等の見学、五年生は広島平和学習、萩でのレンタサイクル、新門司、福岡、中学三年生は広島平和学習、宮島、徳島、香川に行ってきました。単なる物見遊山にならないよう、どの学年も平和学習を中心に据え、班別の自主研修を織り交ぜながら、有意義な四日間を過ごしました。生徒たちにとっては、学生生活において忘れられない思い出となったようです。

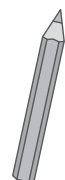
卒業式は在校生の出席をなくしたものの、高田本山常磐井法主殿下、保護者会会長小島しおり様ほか役員の方々にご臨席いただき、三年生、六年生合わせて五五四名の卒業生が旅立ちの日を迎えました。進路状況に関しましては、後の進路指導部の

教諭職)に合格し、オフィスワークコースでも四名が公務員に合格しました。就職においてこのような成果を上げることができましたのは、同窓生の皆様が地域社会に貢献され、高い信頼を得ておられるおかげです。心より感謝申し上げます。また昨年度は、津商工会議所設立一三〇周年記念事業「TSUBU SINESSIDEA CONTE ST」で、キャリア育成学科オフィ

頁をご覧ください。また文武両道を目指し掲げる本校各部活動の様子、大会結果も後の中・高部活動の頁に詳しく掲載しております。どうぞご確認ください。本校は一昨年開校一五〇周年を迎えました。仏教の教えをもとにした人を慈しみ感謝する心、長い伝統と歴史の中で培われてきた「自主・自律」の精神のもと、部活動、生徒会活動、学校行事、探究学習、海外研修、多種多様なセミナーなど、生徒の皆さんがチャレンジできるプログラムをたくさん用意しております。今後も生徒の皆さんが夢や目標を実現できるよう、教職員一同全力で応援しサポートしたいと思います。

同窓の皆さまにも生徒たちの成長を温かく見守っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

スワークコース・伊東ゼミ一年が優秀賞(第二位)を受賞しました。彼女たちのビジネスアイデアは湯元榊原館の現地調査が基となっていて、地域連携が充実してきた成果といえます。キャリア研究センターは令和五年度で廃止となりますが、その事業や役割はオフィスワークコースで引き継ぎ、地域連携をより一層充実させていきたいと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願



### 樹心同窓会協力金にご賛同いただいた会員の皆様

令和 5 年度

卒業年度順 (敬称略)

令和 6 年 3 月 31 日現在

伊 藤 清 一 (高校 S28)
服 部 丈 澄 (高校 S31)
藪 谷 為 雄 (高校 S37)
赤 塚 勝 (高校 S37)
志 田 行 弘 (高校 S40)
匿名 希 望 (中 3 S42)
匿名 希 望 (中 3 S44)
匿名 希 望 (中 3 S44)
山 中 利 之 (中 3 S44)
安 井 敏 明 (高校 S44)
長 谷 川 博 (中 6 S45)
北 端 一 子 (短大 S45)
松 田 英 明 (中 6 S45)
岡 野 英 治 (高校 S45)
匿名 希 望 (中 3 S46)
匿名 希 望 (高校 S47)
山 近 礼 子 (中 6 S47)
中 澤 宏 平 (高校 S47)
野 田 富 子 (高校 S47)
匿名 希 望 (中 6 S47)

宮 崎 安 則 (高校 S47)
守 道 一 宣 (高校 S47)
匿名 希 望 (高校 S47)
細 川 元 之 (中 6 S47)
曾 我 嘉 範 (中 3 S50)
匿名 希 望 (高校 S53)
藤 井 德 雄 (高校 S54)
馬 杉 秀 之 (中 6 S56)
匿名 希 望 (高校 S57)
匿名 希 望 (中 6 H4)
石 崎 旭 (中 6 H9)
匿名 希 望 (高校 H14)
匿名 希 望 (中 6 H14)
大 江 健 吾 (中 6 H21)
中 村 明 (高校 H24)
佐 竹 貴 仁 (高校 H24)
匿名 希 望 (中 6 H24)
匿名 希 望 (短大 H26)
宇 陀 木 人 (高校 H29)

● ご協力いただき誠にありがとうございます ●

### 協 賛 企 業 一 覧

(五十音順)

令和 6 年 6 月 10 日現在

名 称
愛 知 (株)
ア イ ン ズ (株)
(株) ア サ プ リ 三 重 支 社
荒 川 制 服 (株)
伊 藤 印 刷 (株)
津 伊 藤 販 売 店
(株) S D コ ン サ ル テ ィ ン グ
岡 三 証 券 (株)
岡 写 真 館
(株) カ ン キ ョ ー
近畿日本ツーリスト(株) 津支店
(株) 鴻 池 組
(株) コ ー ジ ン カ ン パ ニ ー
(株) サ イ ネ ッ ク ス
三 十 三 銀 行
三 和 書 店
(株) シ ス テ ム テ ク ノ
杉 新 衣 装 店
NPO 法 人 鈴 鹿 市 馬 術 協 会
セ コ ム 三 重 (株)
(株) Z T V
瀧 本 (株)
千 卷 印 刷 産 業 (株)
(株) 中 部 都 市 建 築 設 計 事 務 所
長 永 ス ポ ー ツ 工 業 (株) 三 重 支 店
(株) 津 ド ラ イ ビ ン グ ス ク ー ル
(株) 辻 工 務 店
筒 井 印 刷 (有)
(株) T & Y フ ー ズ
東 海 土 建 (株)

名 称
(株) 東 海 フ ォ ト デ ザ イ ン シ ス テ ム
東 邦 ガ ス エ ナ ー ジ ー エ ン ジ ニ ア リ ン グ (株)
笑 旨 か ら あ げ 富 や X X
(株) ト ン ボ
ス ー パ ー ニ シ イ
(株) 西 出
日 本 土 建 (株)
(株) 白 揚 ブ ッ ク セ ン タ ー
写 真 の は せ
長 谷 川 体 育 施 設 (株)
(有) 樋 口 商 店
(株) 百 五 銀 行
富 士 フ ィ ル ム ビ ジ ネ ス イ ン ベ ー シ ョ ン 日 本 (株)
藤 原 工 業 (株)
(株) 武 道 東 海
ブ リ ク ス ト ン
(有) 平 治 煎 餅 本 店
別 所 書 店
(株) ヘルシーファミリー
ホ テ ル グ リ ー ン パ ー ク
本 の 王 国
三 重 交 通 (株) 中 勢 旅 行 支 店
三 重 テ レ ビ 放 送
三 重 ト ヨ タ 自 動 車 (株) 津 桜 橋 店
ミ フ ジ (株)
ミ ヤ タ ス ポ ー ツ
リ コ ー ジ ャ ン (株)
(株) 有 宣 企 画
ヨ シ ダ 運 動 具 店
(株) ラ イ フ プ ラ ン

本年度は、子ども学科一四二名、キャリア育成学科オフィスワークコース六八名、キャリア育成学科介護福祉コース四〇名、合計二五〇名の新生を迎えてスタート致しました。全体の募集定員が二五〇名ですので、ちょうど定員ぴったりになりました。全国の短大の九二%が定員割れ(二〇二三年度)を起こしている中で、定員を充足できましたことは望外の喜びでした。なかでも介護福祉コースは、人間介護福祉学科開設以来、介護福祉コースに変更されてからも初めての定員四〇名を充

足することができました。四月には子ども学科は短大で、キャリア育成学科は白山ヴィレッジで新生研修を行いました。どちらも学生たちは元気に楽しそうに参加して、新生同士や教員との親睦を深めることができました。ただ、年々メンタル面で課題を抱えた学生が増加しており、また本年四月から合理的配慮の提供が義務化されたこともあり、喫緊の課題として全学的な学生支援の体制を整備する必要があります。そこで昨年学生相談室を設置して、学生が相談できる場所を明確化し、またFD・SD

研修で「大学における障害学生支援について」合理的配慮の理解を中心に「1」という講題で三重大学の風間博希先生に講演していただき、合理的配慮に関する教職員の理解を深めました。その上で、今年度より学生相談室に臨床心理士を常勤で配置して、配慮が必要な学生に対する早期発見、早期支援の仕組みをつくっているところと、支援を要する学生だけでなく、多様化する学生を取り巻く問題について悩んでいる学生が些細なことでも相談しやすい環境にしていきたいと思っております。

『阿弥陀経』に「青色青光、黄色青光、赤色赤光、白色白光」という言葉があります。私たち一人ひとりが、それぞれの色で光り輝いていることを説いた言葉です。本学には、留学生もいれば、アスリート推薦の学生や、委託訓練生もいて、女子学生も、男子学生も、合理的配慮が必要な学生も、本学に多様な学生が在学しています。その一人ひとりが光り輝くように、そしてしっかりと専門的な知識や技術を身につけて地域社会に貢献する人材となるように、教職員一同力を合わせて、課題に取り組んでいきたいと思っております。ぜひ皆様の変わらぬご理解とご

支援を今後とも賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。また、一昨年から津市のふるさと納税の寄付先に、本学を指定できるようになっています。昨年度は津ふるさと津かがやき寄附私立学校応援交付金として八万二千円の交付があり、老朽化したコピー機の買い替え費用の一部に充当させていただきました。このように学生の教育研究および教育環境の充実などに充てさせていただきますので、こちらの方もぜひご助力いただきますよう、お願い申し上げます。

# 新任教職員紹介

- 一、氏名
- 二、担当教科・部署
- 三、趣味・特技
- 四、着任のことば

## □ 中・高等学校 □

一、今田 美千代  
 二、国語・進路指導部  
 三、読書・映画鑑賞  
 四、様々なご縁があつて、本年度より高田学苑でお世話になっております。高田中・高等学校は義父、夫、娘の母校であり、夕食の団欒では、学校のこと、先生方のことがよく話題に上っていました。また、北側の道路を通るたびに、立派な校舎やグラウンドを眺めては憧れを抱いております。

昨年度末に、三十年以上におたつて勤務した県立高校を少し早めに退職しました。やるだけのことはやつたと達成感はあるものの、心のどこかに穴が開いたような虚しさも感じていました。そうしたなか、高田中・高等学校で国語の教員を探しているとの報が入り、急遽、雇っていただくことが決まりました。こうして、新たな気持ち・環境で再び教壇に立つことができ、嬉しく思います。

まだまだ戸惑うことばかりで不安も多いですが、朝夕、学生ホー

ルを横切るたびに、真剣に自習している生徒たちの姿から元気をもらっています。そして、少しでも高田学苑のお役に立てるよう、気を引き締めて取り組んで参ります。

一、門屋 誓子  
 二、国語・中学一年生担任  
 三、読書  
 四、本年度より、高田中・高等学校でお世話になっております。規模の大きい学校に驚くこともありましたが、周囲の先生方に温かく迎えていただき、深く感謝するとともに、微力ながら精いっぱい努めてまいりたいと思っております。

担当教科は国語で、中学一年生の担任を務めさせていただいております。入学してまもない、明るく元気な生徒の皆さんとともに、楽しく、充実した毎日を過ごさせていただいております。学生生活の中では、嬉しいことも悩むこともあると思いますが、ともに喜び、ともに考えながら私も成長していきたいと思っております。

至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあろうかと思いますが、ご指導、ご鞭撻のほど、よろしく願います。

一、宮下 倫輝  
 二、理科・生徒指導部  
 三、ドライブ・温泉旅行

四、本年度より、縁あつて高田中・高等学校でお世話になっております。担当教科は理科(物理と化学基礎)を、部活動は高校陸上競技部の顧問を務めさせていただいております。

私はこれまでの人生で多くの成功と挫折を経験しました。振り返るとそれらの経験は私にとって良い影響を与えてくれてあります。特に挫折の経験は私の人生を豊かにしてくれたと考えております。このような経験を指導に活かし、皆さんが自らの可能性を信じ、目標に向かって努力する姿をサポートし、共に歩んでいける存在でありたいと思っております。生徒の皆さんと共に学び、成長していくことを心より楽しみにしております。どうぞよろしく願います。

一、弐 唯衣  
 二、中学校二年生副担任・英語  
 三、映画鑑賞、料理、ランニング  
 四、本年度より高田学苑でお世話になっております。中学二年生と三年生の英語を担当しています。

着任して間もないですが、多くの先生方からの温かいご指導のおかげで、少しずつではありますが日々成長を感じるとともに、教壇に立てることへの喜びを感じています。

私の苗字の漢字には弓が含まれていますが、高校時代は弓道部に所属し日々練習に励んでいました。私はその際に出会った「千射万箭」

という四字熟語をモットーとして、高田学苑で一生懸命努めていきたいと考えております。この言葉のように、一人一人の生徒に真摯に向き合い、一つ一つの業務に全力で取り組みます。

まだまだ至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしく願います。

一、赤塚 可奈  
 二、英語・高校Ⅱ年生副担任  
 三、スポーツ観戦・音楽鑑賞  
 四、本年度より縁あつて、母校である高田中・高等学校に勤務させていただきます。

授業では、英語を楽しみながら学ぶことができる環境づくりに努めております。また、授業時間外での関わりにおいてもコミュニケーションの皆さんは勉強や部活動などに勤しみ、それぞれの目標に向かって日々努力されています。私自身、これまでに困難や挫折を経験してきましたが、多くの人々の支えがあつて乗り越えることができました。生徒の皆さんの新たな一面や良さを知り、伴走者として学びのサポートに努めてまいります。そして、一学習者として様々なことを吸収したり、改善したりしながら共に成長していきたいと思っております。

至らぬ点も多々あるかと存じま

すが、どうぞよろしく願っています。

一、谷川 慶悟  
 二、進路指導部  
 三、ソロキャン  
 四、本年度より、高田学苑でお世話になっております。教科は社会科地理を担当しており、進路指導部に着任させていただきました。

母校で教鞭を執らせていただくことは、学生時代からの夢であるとともに憧れでありました。教員として校門をくぐらせていただくことを大変光栄に思うとともに、身の引き締まる思いであります。着任して間もなく、教師としても、人間としても半人前である事を自覚しながらも、多くの先生方にご指導いただき、やりがいとともに成長を感じる日々であります。

将来の日本、世界で活躍する生徒達を指導するうえで、教員としての自分に何が求められているのかを日々模索しながら、生徒達と共に成長していくことができるよう、校務に邁進していく所存であります。至らない点ばかりではありますが、今後ともよろしく願います。

一、長松 真見  
 二、仏教科  
 三、森林浴・月光浴・岩盤浴  
 四、私は近頃、自身の恵まれた環境について考えます。

こともあろうに、大学を卒業し

てから教員免許を取得しようとした時も、先生の勧めで大学の事務職員として学費を払いながら通わせていただきました。このまま寺で暮らしていくことに一抹の不安を感じていた時も、高田本山の職員として働きながら日々の作法を学ばせていただきました。そして住職となった今、日々に忙殺されていた中で新たな学びの場として高田学苑で非常勤講師を勤める縁をいただきました。

思えば、人生の節目には必ず人との出会いがあり、多くのご厚意に甘えてきました。

まだ私は、このご厚意に報いることができるような人間ではありませんが、この高田学苑で多くの人と出会い、共に学びを深めることができたら幸いなことと存じます。

一、中西 博亮

二、高田高等学校 理科講師  
三、映画鑑賞・音楽鑑賞・読書・園芸他

四、本年度、高田学苑で教鞭をとなせていただくことになりました。何卒、よろしく願いました。

私は伊勢市に生まれ、高校まで地元公立校で学びました。その後、すぐに近くの国立大理学部に入學、化学科に進学卒業しました。また、後に東京の国立大薬学部に進んでいきます。化学科では生物化学方面を薬学部では生物化学を学びました。ですので化学と生物は同程

度に専門です。大学卒業後は主に長らく東京都立高校教諭をしておりました。

私の推奨の勉強方法は基礎からのコツコツの積み上げです。また、互いに教え合う協働性も重要だと思っています。

皆様と良きご縁になることを願ってやみません。

短大

一、林 幹士(はやしまさし)

二、子ども学科

三、趣味・カフェめぐり  
特技・けん玉

四、今年度より、子ども学科にてお世話になっている林まさしと申します。保育者養成校にてお仕事をさせていただき、十年目を迎えます。これまでの経験を学生のみなさまに伝えていきたいと考えています。

短期大学では、教育原理・保育者論等を担当します。教育原理や保育者論は、どうしても理論的な話になってしまいがちです。このなかでも、実践的な話を入れて、学生が少しでも興味・関心を持つるように工夫しながら授業に取り組んでいきます。短期大学の学生生活はあつという間ですが、学生が自信を持って就職していけるように全力で教育していきます。着任して数週間、教職員のみなさまに親切にしてください、大変

感謝しております。まだまだ、僕自身わからないことばかりではありますが、引き続きご指導よろしく願います。

一、伊藤 拓也

二、子ども学科

三、料理・野球・楽器演奏

四、本年度より、子ども学科の助教としてお世話になっております。

「保育の心理学」「子どもと人間関係」「発達学習心理学」などの授業を担当いたします。これまではスクールカウンセラーや診療所のカウンセラーなどとして現場での実践と、大学での心理職の養成などに携わってきました。

子どもたちやそのご家族と密にかかわる機会が多い、保育者の養成に貢献したいと以前から考えておりましたが、地元である三重県でご縁をいただき、大変うれしく思います。

心理職としてのこれまでの実務経験を伝えるだけでなく、学生さんたちの個々の良さを引き出せるような教育をしていきたいと考えております。また地域貢献活動にも積極的に取り組んでいきます。

至らぬ点多々あるかと存じますが、日々成長していきたいと思っております。これからどうぞ、よろしく願っています。

一、尾高 慶彦

二、子ども学科

三、スノーボード・温泉巡り

四、本年度より、子ども学科に着任いたしました。授業では保育内容総論や保育実習指導を中心に担当いたします。大学時代には中学校の技術を専門的に学んでいたこともあり、幼児のSTEM教育や科学遊びについて研究しています。

これまで、愛知県で小学校の教員を四年間、長野県で短期大学の教員を四年間務めてきました。小学校教員として培ってきた子どもや保護者との関わりと短大教員として保育者養成に励んできた経験を活かしながら、保育者を目指す学生みなさんの支えとなれるように尽力いたします。

子どもの頃、父が三重県へ出張に行くたびにお土産として赤福を買ってきてくれるのが楽しみでした。次に実家(岐阜県)へ帰省する際には、私が赤福を手土産に持ち帰ろうと思います。そのような思い出深い三重県とのご縁があり、大変嬉しく感じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

一、杉本 あゆみ

二、キャリア育成学科 オフィスワークコース

三、登山

四、本年度より、キャリア育成学科 オフィスワークコースに着任いたしました杉本あゆみと申します。主にキャリア教育、オフィス実務、ビジネススマナー関連の科目を担当しております。また、これからの予測不能な時代を力強く

生き抜くのに必要とされている、エージェンシー、コミュニケーション能力の育成に繋がるキャリア教育法を研究しています。

本学では、授業に尽力するだけでなく、できる限り多くの学生と密にコミュニケーションをとり、それぞれの学生が最も希望する企業への入社に繋がる、手厚い就職活動サポートにも励みたいと考えております。

三重県にはこれまでご縁がなく、不安や戸惑いもありますが、周りの優しい方々に日々助けられ、深く感謝しております。皆様と協力し本学の発展に少しでも貢献できますように精進いたします。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

一、江淵 剛

二、キャリア育成学科 オフィスワークコース

三、趣味は、(ありきたりですが)

映画鑑賞です。「映画館で見るこ」とが好きで、子供と子供向け映画を見るのを楽しみますが、自分が見たいものを一人、レイトショールでビールを飲みながら鑑賞することが至福のときです。

四、このたび、短期大学キャリア育成学科オフィスワークコースに着任致しました江淵 剛と申します。学科では、経済・経営関連科目に加えて、ゼミナール、社会体験学習・実習、地域実践等の授業を担当致します。

これまでの、会社員として年金の資産運用の業務に就いてまいりました。主な研究領域は保険学で、近頃は年金、福利厚生制度としての企業年金の機能に着目しています。

高田短期大学に着任して、まだ一か月程ですが、本学のいたるところで毎日、自然と交わされる「挨拶」は本当に素敵な習慣と感じています。何気ない日々の行動ですが、挨拶によって、学生、教職員共々、大学が居場所であることや愛着を感じられるのではないのでしょうか。授業では、経済を身近なこととして感じてもらうべく取り上げ、学生が自分にも関係が深いこととして考えられるよう意識しています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

一、東海林 藍

二、キャリア育成学科 介護福祉コース

三、お菓子作り・猫

四、本年度より介護福祉コースでお世話になっております。これまで高齢者福祉の現場で介護福祉士としても働いておりましたが、近年は介護保険外サービスで高齢者の足の爪のケアを中心としたフットケアを提供する仕事をしています。高齢者のフットケアは介護予防にも大変有効であり、介護福祉士に必要な知識、技術の一つとして、お伝えしていきたいという思

いから教員を目指し、このたび高田短期大学にご縁をいただきました。私自身、一つ自分の得意を伸ばすことで、介護福祉の見方が大きく変わりました。この体験を学生の皆さんにも伝えたいと考えております。教員としては走り出したばかりですので、たくさんご迷惑をおかけするかと思いますが、何卒、ご指導賜りますようお願いいたします。

一、角谷 愛

二、学生相談室

三、出産前はツーリングが大好きで、全国を駆け巡っていました。乗る時間が取れず、泣く泣く手放してしまつた今は、レジンとアロマをやつてみたいなと思つています。四、今年度から、学生相談室の相談員としてお世話になっております。すみやめぐみと言います。少年鑑別所の心理技官、小学校教諭(担任よりも、教育支援センターや教育相談を担当した時期が半分以上でした)と、二十年余り、公務員として勤務していました。これまでの経験から、大きな集団の中で、ひっそりと困り感を感じている方に寄り添い、伴走していただけるような仕事をしたいと思つていたところ、このたびのご縁をいただきました。まだまだ大学の仕組みがよくわかつておらず、右往左往している私に、教職員の方々が声をかけてくださり、あたたかい職場だなと感じて感謝しております。至

らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、未来ある学生さんたちの支援に尽力していきたいと思つております。どうかご指導のほど、よろしくお願ひいたします。

一、藤村 泰子

二、キャリア支援センター キャリアアサポーター

三、旅行・ゴルフ

四、今年度よりキャリア支援センターで勤務させていただいております。私は永年三重県の金融機関で仕事をしておりましたが、セカンドキャリアとして今まで学んだ沢山の事を活かし、何かのお役に立ちたいと常々考えておりました。そして今回ご縁あつてこのキャリアアサポーターという仕事に出会うことが出来ました。教育領域での仕事は初めてですが、前職の金融機関で数年間人事部研修課という部署に所属しており、新人社員、若手社員に対し、教育を行なつた経験もあります。今後はこの経験や接客、営業などの経験を活かし、私だからできる話やアドバイスを短大の学生の皆さんに伝えていければと思つています。学生生活最後となるであろうこの二年間で学生の皆さんが、多くの気づきを起こし、今まで以上に成長し、社会人への新たな一歩を踏み出せるように、寄り添いそして伴走していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

進路指導

高校進路指導部

中学校最上級学年の年、新型コロナウイルス感染症の影響を受けそれまでの生活が一変し、高校入学後にも描いていた高校生活も思い通りにはいかず、我慢することが多かった学年でしたが、あきらめることなく、できることを見つけ、小さな喜びをエネルギーに変え、大きな変化を乗り越えてくれた、三年制355名、六年制199名、合わせて554名の生徒たちは、令和6年3月1日、無事卒業の日を迎えることができました。今春の卒業生と既卒者を含めた、進路結果及び就職決定先がまとまりましたので、ご報告いたします。

【進路状況】

令和5年度の全体・三年制・六年制の進路結果は次の通りです。

Table with columns for 進学 合格者延べ数 (既卒者含む) and 令和6年4月. Rows include 四年制大学, 文部科学省管外, 短大, 国立各種・専門学校, 私立各種・専門学校, 就職.

過去5年間の合格者推移 3年制

Table with columns for 年度 (H31, R2, R3, R4, R5) and 卒業生 (国公立大学, 私立大学, 短期大学, 各種・専門学校, 就職).

- 三年制
主な大学進学先
三重大学 13名
愛知県立大学 1名
名古屋市立大学 1名
三重県立看護大 3名
中央大学 2名
愛知大学 23名
中京大学 42名
南山大学 3名
名城大学 20名
皇学館大学 44名
鈴鹿医療科学大学 45名
立命館大学 12名
高田短期大学 40名

過去5年間の合格者推移 6年制

年 度	H31	R 2	R 3	R 4	R 5
卒業生	183	172	179	179	199
国立大学 (全体)	122	100	115	110	126
国立大学 (現役)	88	82	88	83	107
私立大学	528	417	510	510	518
医学部医学科 (私立大学含)	66	56	64	63	77

(防医大含)

○六年制  
主な大学進学先

東京大学	5名
京都大学	4名
大阪大学	7名
名古屋大学	5名 (医学科1名)
北海道大学	4名 (医学科1名)
東北大学	1名
神戸大学	6名
三重大学	33名 (医学科17名)
慶應義塾大学	8名
早稲田大学	14名
上智大学	1名
明治大学	14名
中央大学	18名
同志社大学	41名

昨年度の入試は、旧教育課程最後の入試ということで生徒・保護者の間では、無理をしない安全志向がはたらくのではないかと予想していましたが、このような不安な状況にもかかわらず、生徒たちは、この三年間、また六年間本校で培った力を十分に発揮し、自らの夢の実現に向け数多くの合格を勝ち取ってくれました。昨年度入試のトピックスとしては、三年制からは、国立大学へ30名(既卒生含む)が合格し、これで二年連続の30名以上となったこと、さらには、地元三重大学へは13名が合格したことが挙げられます。今後は、三重大学に20名以上、そして、国立大学へ50名以上が合格できるように目標をもち日々の教育を進めていきたいと考えています。

六年制からは、今年も、多くの生徒が医学部医学科を志望する傾向にあり、その影響で東京大学・京都大学への合格者数は減少しましたが、防衛医科大学校医学部医学科に現役生3名をはじめ、国立大医学部医学科に26名(現役生24名・既卒生2名)、私立大医学部医学科に48名(既卒生含む)の計74名が医学部医学科に合格を果たし、例年通り県内では他を圧倒する結果を得ました。さらには、現役生の国立大学合格者が107名と3桁に達したことは近年にはなく、六年制の目標である「高い現役生合格率」を維持できました。これも偏に、生徒たちが国立大の後期試験の最後の最後まで粘り強く頑張ってくれた結果だと思えます。

今年度も進路指導室では、生徒一人一人が満足のいく進路選択を行なうことができるよう丁寧に寄り添った指導に努めて参ります。

中・高部活動

■中・高文芸部

文芸部は、高校文芸部員十六名と中学文芸部員七名とが一緒に活動しています。昨年度も多くの全国大会に出場し、賞をいただきました。

○第四十七階回全国高校総合文化祭 鹿児島大会(八月二日～四日)に、佐藤桜さんが短歌部門の三重県代表として出場しました。

○第十八回全国高校生短歌大会(短歌甲子園二〇二三)が八月十八日～二十日に盛岡市で開催され、加藤晴香さん、治田優花さん、神田実咲さんが出場し、決勝トーナメントに勝ち進みました。また、個人戦では神田さんが決勝に進出し、惜しくも入賞を逃しましたが、治田優花さんは、話題作品賞を受賞しました。

○第五回万葉の郷とっとりけん全国高校生短歌大会が鳥取市で開催され(十一月四日)、加藤晴香さん、治田優花さん、神田実咲さんの三名が出場しました。団体戦では惜しくも準決勝で敗退し、敢闘賞をいただきました。

○第三十八回全国高等学校文芸コンクールでは、神田実咲さんが短歌部門で優良賞を受賞し、国立オリンピック記念青少年総合センターで行われた表彰式に出席しました。

○短歌道場が岐阜県郡上市にある古今伝授の里フィールドミュージアム短歌の里交流館で九月三日

■中・高放送部

に開催され、中学文芸部櫻井つむぎさん、樽松望乃さん、豊田拳司さんの三名が出場しました。この大会には出場者の年齢制限がないため、予選を突破した十二チームの中で本校のチームが最年少での出場となり、一回戦でディベートの上手な大学生チームと対戦し、敗退しました。しかし、その中で櫻井さんの歌が審査員の「穂村弘」賞を受賞し表彰されました。

○第三十七回東洋大学「現代学生百一首」に、中学三年櫻井つむぎさんの作品が選ばれました。今年も多くの大会に出場できるよう意欲的に取り組んでいきます。

「進化」の年 四年 池中 あおい

放送部は毎年、NHK杯とKWNに参加しています。特にNHK杯は放送部にとっての甲子園といえるもので、全国優勝を目指して中高ともに日々練習に励んでいます。二〇二三年度は放送部にとって「進化」の年でした。部員同士の仲が良く、活動の自由度が高いことがモットーで、皆が同じ「勝ちたい」という思いを抱き、本気で取り組みました。アナウンス・朗読の練習では部員同士で積極的にアドバイスをし合うことで技術の抜本的な強化につな

がりました。機材の練習では毎日目標を立てて、一つ一つの技術を確実なものにしました。

その結果、高校部は第七十回NHK杯全国高校放送コンテストの全国大会テレビドキュメント部門で優良賞を受賞し、中学部は第四十回NHK杯全国中学校放送コンテスト全国大会朗読部門で、私自身が最優秀賞をいただきました。

私が読んだ『ごきげんな裏階段』の中の『たまねぎねこ』という話は、アパートからいなくなってしまうノラという猫に早朝の裏階段で思いがけず出会うという場面です。日常的によく目にする裏階段は、どこかミステリアスな雰囲気です。それを私の強みである低い声で聞き手に届けたいと思い、がんばりました。一番苦労したのは「自然さ」でした。何度も録音して聞き返したのですが、ほとんどが硬く、読んでいる感じがすると顧問の先生から指摘されました。鼻濁音など、技術面を気にしながら、それが原因だったと思います。そこで、あえて何も考えずに読むと、不思議と自然な朗読に仕上がりました。

つまりきながらここまで来ることができたのは、先生や友人、そして部活の仲間のおかげです。今年も中学、高校ともに全部門での優勝を目指して、本気で楽しく取り組んでいます。そして、樹心同窓会の皆様にはいつもたくさんの応援をいただき、本当に感謝しています。ありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

■中・高美術部

私たち美術部は、中学生十九人、高校生二十五人の計四十四人で活動しています。新入生が中高合わせて二十二入部し、活気づいてきました。

私学展や学内展示、公募展などへの作品発表、芸術系大学への進学を目標に、みなそれぞれ集中し頑張っています。

先日、部結成のミーティングを行い、学内展示の担当月を決めました。学内展示の作品は高田学苑のクラブHPに掲載していきますので是非ご覧ください。

以前に比べ、技術の習得の為に積極的に顧問に指導を仰いだり、自ら公募展に挑戦するなど主体的な活動をする生徒が増えてきました。

今後は各々の表現力に応じた内容で活動の幅を広げていきたいと考えています。

最後に私学展は今年度も一月に行われる予定ですので、是非足を運んで頂けるとありがたいです。

■中・高箏曲部

箏曲部は現在、高校三年生六名、高校二年生八名、高校一年十一名、中学三年生三名、中学二年生三名、中学一年生七名の計三十八名で活動しています。月曜日から金曜日の放課後に練習があり、水曜日と金曜日には外部の先生に来ていただき、指導していただいています。今年も多数の新入部員が入部し、力を合わせて演奏できるように毎日練習に励んでいます。

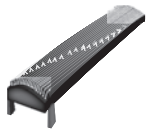
昨年度は、夏に開催された三重県

高等学校日本音楽演奏会に出場しました。高校一年生は、この演奏会が初めての大舞台で、不安や緊張、そして期待を抱きながら演奏会まで毎日練習を重ねました。練習ではなかなか上手に弾けず、学校の多忙なスケジュールにより、部員全員が揃わないことも多く、焦りを感じることも多々ありました。しかし、先生の熱い指導のもと、「頑張ろうね」、「部活に行こうよ」と声をかけあうこと

によって部員全員の団結力が高まりました。そして本番では第三位という輝かしい成績を収めることができました。その結果、十一月には近畿高等総合文化祭三重大会の日本音楽部門に三重代表として参加しました。そこでは夏の大会よりも良い評価をいただき、とてもうれしかったです。三重県の代表の一角として他県の代表校と同じ舞台上に立てたことはとても大きな自信となり、貴重な経験でした。

私たちはこの経験から、部員が一人丸となって団結する難しさと喜びを感じました。そして何より仲間がいれば、どんな困難もきつと乗り越えることができるのだと学びました。今年も三重県日本音楽演奏会に出場し、いい結果につながるような演奏を目指しています。その演奏会に向けて、部員一同、力を合わせて日々練習していきたいと思えます。

箏曲部部长 服部 琴美



■中・高俳句部

本校には、中学俳句同好会と高校俳句部があります。文芸部の活動の一つとして俳句に取り組みむ学校が多い中、「俳句部」という名前で活動を行っているのは全国的に珍しいことです。この名前を守りながら、現在は中高合わせて十人で活動しています。

私たちの目標は、毎年愛媛県松山市で開催される全国高等学校俳句選手権大会、通称俳句甲子園の全国大会に出場し、成績を残すことです。俳句甲子園はイベントによって勝敗が決定します。そのため、良句を創作することだけでなく、鑑賞し表現し、討論することにも重きを置いて練習に取り組んでいます。

俳句部は過去二十年間のうち、十五回全国大会に出場しました。そして、準優勝や第三位という成績を修めたこともありま。しかしここ数年は地方予選で敗れており、全国大会出場の切符を逃しています。再び全国大会の開催地である松山に行くことを目標に、部員同士でたくさん句を創作し、互いに批評し合いながら鑑賞し、切磋琢磨して参ります。

■中・高科学部電気班

二〇二三年度、科学部電気班は中高合わせて四十八名で活動し、次の大会に参加しました。

【中学】

・第十九回中学校技術家庭科創造アイデアロボットコンテスト三重県大会・第二十一回創造アイデアロボットコンテスト東海・

北陸大会

【高校】

・CUIROBOCON2023・第十回宇宙エレベーターロボット競技会関西オープン大会・第十回宇宙エレベーターロボット競技会全国大会

中でも、最も大きな大会は十一月二十三日に神奈川大学みなとみらいキャンパスにて開催された、第十回宇宙エレベーターロボット競技会全国大会でした。大会では、四メートルの高さに設置されたステーションから降ろされたテザーを、自立型のLEGOロボットが何度も昇降しながらボールを運ぶ競技に挑戦し、地方予選を勝ち抜き、全国各地から集まった三十六チームと戦いました。本校からの出場は三回目、二〇二三年度は二チームが参加しました。思わぬトラブルなどもあり悔しい場面もありましたが、両チームとも予選大会以降も工夫と改良を続けた完成度の高いロボットを披露することができました。

二〇二四年度は、十六名の新入部員を迎えて、活動を開始しています。今年度は、昨年度同様の大会で上位入賞を目指すだけでなく、中学生も宇宙エレベーターロボット競技会にチャレンジしたり、小学生に向けた体験会を実施したりと、より一層活発な活動をしていきたいと思っています。

■中学軟式野球部

中学軟式野球部は、三年生十一人二年生十人一年生十三人で活動しています。木曜日以外の平日と土日の、どちらかで練習に励んでいます。チームは県大会出場を目標にしています。初心者から始めた人がほとんどで、お互いが教え合い技術面だけでなく人間的な面でも成長をすることが大切になっています。チームの大半が初心者なので、試合で勝つためにはどんな練習が必要なのか、自分たちで考えて基礎からしっかりと固め、試合で勝てるように頑張っています。

練習メニューはまず毎日ボール回しを絶対することになっています。ボール回しではただ単にボールを投げるだけでなくボールを取ってからいかに素早く投げるか、また正確に相手の胸に投げることを意識してやっています。その後内野ノックや外野ノックを行います。内野ノックでは一歩目の動きだしを意識し、取って満足ではなく、ランナーをアウトにするためにどうすればいいかを考えています。外野ノックではボールに対して後ろから入ることを意識しています。このように一つの練習をより質の良いものにするために、個々の課題やチームの課題を常に考えています。

春季大会では一回戦で、一志・白山の合同チームに7対0で勝利し、二回戦では朝陽中学校に13対3で敗れました。朝陽戦では大敗しましたが、全国レベルの中学校に通用する部分も感じると同時に、課題も見つけられました。最後の夏の大会に向け





て、足りない部分をチームで補い、県大会出場を目標に残りの時間を悔いないように、チーム一丸で取り組んでいきます。

中学軟式野球部キャプテン  
3a 三井 純

■中学卓球部  
私たち中学卓球部は、三年生十一人、二年生十八人、そして今年新たに入学した一年生二十五人で活動しています。

日々の練習では、顧問の先生方に優しく分かりやすく教えていただき、各々の課題に対して真面目に練習に取り組んでいます。直近の大会では、団体戦において、Aチームがベスト8入賞、Bチームが準優勝しました。個人戦での入賞はなかなか難しいですが、ベスト8入賞を目標に、それぞれの大会での経験を次に活かせるよう、これからも努力を続けていきたいと思っています。また、卓球の技術の向上だけでなく、先生方に気持ちの良い挨拶ができるチームを目指していきます。

私たちは、卓球の技術を向上させるだけでなく、チームワークや社会性、礼儀なども身につけていきながら、皆で楽しく部活動を行っています。三年生は残り約三ヶ月で引退となるので、最後の大会である夏の中学生連で良い成績を残すことができるように、また、後輩達がこれから頑張っているように、残された練習時間で最後まで努力していきます。

部長 加藤 怜

■中学バスケットボール部

現在、中学バスケットボール部は男子が三年生六名、二年生十三名、一年生九名の計二十八名、女子が三年生九名、二年生三名、一年生十五名の計二十七名、男女合わせて五十五名で活動をしています。練習場所としては、主に第三体育館を使わせていただいています。冷暖房を備えていただいているおかげで、熱中症のリスクを抑えることができているので、本当にありがたいと思っています。

今年度の男子は、バスケットが好きで、自主的な練習を欠かさない選手が多いことが特徴です。その努力の結果、昨年度の秋に出場した津市民大会では準優勝という結果をおさめました。夏の中学生連では、県大会出場を目標に、練習に励んでいます。女子は、明るく元気な雰囲気の特徴です。全員で走るバスケットを目標に、最後の大会での勝利を目指して、汗を流しています。バスケットボールを通じて、日々成長する生徒たちのことを、今後とも温かく見守っていただければ幸いです。

顧問一同

■中学バレーボール部

現在、中学校女子バレーボール部は三年生四人、二年生四人、一年生六人の計十四人で活動しています。公式戦で勝つことを目標に、日々生徒達は切磋琢磨して練習に励んでいます。ほとんどが未経験者で、公式戦では苦戦していますが、全員で声

を出して全力で攻め続ける高田のバレーボールで、強い相手にも諦めずに戦い続けています。高校のバレーボールを題材とした人気スポーツ漫画「ハイキュー!!」の中に「多分こんな風にあっけなく部活」を終わるやつが全国に何万人といふんだろう。何試合もある予選を全部勝ち抜いて全国へ行つて：これがフィクションだとしたら全国へ行くやつらが主役で俺達はエキストラみたいな感じだろうか。それでも俺達もやつたよ、バレーボール」という屈指の名言があります。未経験者ばかりのチームで試合に勝つことは簡単ではありません。今の代は特に苦しく、まだ一回も勝っていません。他のどのチームよりも先に試合会場を去り、あっけなく終わっていきます。生徒達は力の差を思い知らされ、やるせない気持ちになっっていることでしょう。それでも、力の差があるチームに本気で挑み続け、味わった悔しさを成長に変え、試合毎に進化した姿を見せてくれます。輝かしい結果は無いですが、最後にはやり切った顔でバレーボール部を引退していきます。部活動を通して、本気で取り組むからこそ得られる悔しさや喜びを味わい、生徒が高校、大学を卒業し、社会にでた際にも頑張りが続く糧にしてみたいと思います。指導者として嬉しく思います。最後になりますが、生徒達が部活動を思い切り楽しめる環境を作れるよう、顧問として全力を尽くして参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。

■中学なぎなた部

現在、三年生三名、二年生四名、一年生三名の十名で活動しています。「文武不岐」の精神の基、基本を大切にし、正しいなぎなたを身につけられるよう稽古しています。新入生を迎え、一年前を振り返り、二年生が教えている姿を見ていると微笑ましく思います。

昨年、七月に栃木県宇都宮市で行われた全国中学生大会の個人の部において、五位に入賞いたしました。後に続けと後輩たちが稽古に励んでおります。演技は、早くからベアを決めて意識を高め、防具の稽古は、高校生の力も借りながら技を磨いております。今年度七月に開催される、三重県選手権大会での優勝、全国中学生大会での入賞を目指して頑張りますので、応援よろしくお願いたします。

顧問記

【主な戦績】

●第三十回JOCジュニアオリンピックカップ全日本中学生なぎなた大会 (令和五年七月)

個人の部

五位 武田 清奈

演技の部

出場 伊藤悠々子

団体の部

出場 武田 清奈

伊藤悠々子

谷野 由依

●第三十七回三重県なぎなた選手権大会兼三重県知事杯第十回三重県小・中学生なぎなた選手権大会 (令和五年七月)

個人の部

三位 武田清奈

■高校硬式野球部

「二隅を照らす」を部訓に掲げ、顧問四名・部員四十八名で夏の第一〇六回選手権大会に向けて活動しております。令和三年度の春・夏ベスト8を超えられるよう努力しております。

昨年度は、中山勝暁(令和五年度卒)が注目され、それに相当する活躍を果たしました。名和優準(同卒)とともに六年コース所属部員が最後まで部に所属し、日頃の学習や受験に向かう姿勢は、部に対する貴重な模範となりました。三・六年両コースが揃って活動し、甲子園に出場することこそ、本校・当部の理想であるべきだと改めて考えさせられました。

さて、捕手として中山を支えた藤田輝から、竹口和真に主将が引き継がれました。現チームは、個々の「自主性」を重んじ磨いた力を「団結力」として発揮することを目標としました。秋季大会では順調に地区予選を突破し、県大会一回戦(対津西高校)を勝利し、二回戦(対いなべ総合学園高校)では破れはしたものの粘りが目立つ好試合をすることができました。

手応えをもとに、オフシーズンでは身体作りを基本として、月毎に守

備・打撃・スピードを重点課題として設定しました。ところが春季大会においてはその成果がほとんど発揮できず、個々の自主性が団結力に結びつかず四年ぶりの地区予選敗退という結果に終わりました。敗退後、部員自らミーティングを行い、チームを立て直すようとしております。その成果も少なからず見られてきました。

学習も野球も、今日の努力が成果となるのは数ヶ月後。先を見据えながらも瞬間を大切にします。そう念じて活動しております。秋季大会の経験・オフシーズンの成果・秋季大会の悔しさが生きてくるのは、ここからだと思っております。

また、顧問一同、選手に「体力・耐力・対力」の向上を指導の理念としてきました。そして、指導者の「待力」(見守り、待つ力)をそれに合致させられるよう心懸け、チーム一同の「たいりよく」を発揮することを今後の課題としています。

■高校軟式野球部

私たち高田高校軟式野球部は、現在マネージャー四人を含む部員三十三名が、先生や外部コーチ、保護者の方々の支えを受けながら活動しています。

三十三名という大人数での活動は、チーム全体の意思統一やレギュラー争いなど、大変なことも多いですが、それ以上に先輩後輩マネージャー関係なく仲が良く、日々楽しい雰囲気の中で切磋琢磨しながら、全国大会出場というこの部活代々の目標を叶えるために練習に励んでいます。



高校軟式野球部 5d 草深 歩夢

昨年春、我々は春季三重県大会を全勝し二年連続で優勝、その勢いで春季東海大会初戦も強豪高である静岡商業に創部十三年目にして初の勝利を収めました。決勝戦となった中京高校との試合では、両者譲らぬ緊迫した展開が続ぎ、延長戦タイブレークの末、惜敗し、優勝を逃しました。

しかしこの敗戦は、部として全国大会出場という目標を叶えるための取り組みや姿勢を再確認するための良い機会となりました。

迎えた夏、三重県大会を優勝し東海大会に進みますが初戦、大同大と同高校に敗れてしまい、高三生は引退となりました。卒部した高三生たちの思いを引き継ぎ、その悔しさを決して忘れずに、私たちは練習し続けてきました。

新たに加わった部員やマネージャーと共に、春には合宿を行い団結力を強め、日々の練習でも大人数であるからこそ大切である練習の効率化を意識し、レギュラー陣だけでなく全ての部員がレベルアップできるように練習を心がけた結果、チームとして成長を感じられるような試合や場面も見受けられるようになりました。

私たちはこれからも成長を続け、全国大会出場にふさわしいチームになっけていきます。これからも高田高校軟式野球部の応援の程、どうぞよろしくお願致します。

■高校卓球部

令和六年度三重県高校総体卓球競技兼全国総体兼東海総体三重県予選会が行われました。結果は次の通り。

【中勢地区予選会 男女シングルス】

男女ダブルスの部

四月二十日 津市久居体育館

男子シングルスでは、Ⅲ1藤川航

汰、Ⅱ4濱田太一、Ⅱ4山内健太、

Ⅱ4高畑奏斗が予選通過。女子シン

グルスでは、Ⅲ5石田有紀乃、Ⅲ2

井上明日咲、Ⅲ2三宅愛葉、Ⅱ2田

川陽彩、Ⅱ3川合泉穂、Ⅱ2松田聖

花が予選通過。男子ダブルスでは、

Ⅱ4濱田太一・Ⅱ3松生翼組、Ⅲ1

藤川航汰・Ⅱ4高畑奏斗組、女子ダ

ブルスでは、6c中川さら・ⅢE奥

村菜由組、ⅢB西村香澄・Ⅱ3川合

泉穂組、Ⅲ2井上明日咲・Ⅲ5石田

有紀乃組、Ⅲ2三宅愛葉・Ⅱ2田川

陽彩組、Ⅱ4宇仁彩芽・Ⅱ2松田聖

花組が予選通過。

なお三重県ランキング上位により、

男子シングルスでⅢ3橋爪一惺、Ⅱ

F杉本健悟、Ⅱ3松生翼の三名が。

女子シングルスは6c中川さら、Ⅲ

E奥村菜由、ⅢB西村香澄が。男子

ダブルスではⅢ3橋爪一惺・ⅡF杉

本健悟組が、地区予選免除での県大

会出場となりました。

【三重県予選会 男女ダブルスの部】

四月二十七日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子ダブルスでは、Ⅲ3橋爪一惺・ⅡF杉本健悟組が第三位で東海

総体の出場権を獲得しました。女子ダブルスでは、6c中川さら・ⅢE奥村菜由組が第二位に入賞し、全国総体と東海総体の出場権を獲得しました。また第四位でⅢB西村香澄・Ⅱ3川合泉穂組が東海総体の出場権を獲得しました。

【三重県予選会 男女シングルの部】

五月三日

三重交通Gスポーツの杜伊勢

男子シングルスでは、Ⅲ3橋爪一惺が第五位、ⅡF杉本健悟が第六位、Ⅱ3松生翼が第八位。女子シングルスでは、6c中川さらが第六位で、東海総体の出場権を獲得しました。

東海総体は六月二十二日から岐阜県多治見市にて、全国総体は八月三日から長崎県大村市にて開催されます。

■高校ソフトテニス部

男子はⅢ年生五名、Ⅱ年生二十四名、Ⅰ年生十四名の計二十四名、女子はⅢ年生四名、Ⅱ年生四名、Ⅰ年生八名、Ⅳ年生二名の計十九名で活動しております。技術の向上だけでなく、人間的に成長することを大切にして日々練習しています。

新型コロナウイルス感染症を気にしながらの大会が三年続きでしたが、昨年度より声出し応援が解禁され、保護者やOBの来場も制限がなくなり、ようやくコロナ前の景色を取り戻しました。そんな中、先日行われた春季大会では五年振りに女子

団体五位入賞を果たすことができました。男女が一緒に声を出して応援し、チーム一丸となって戦うという団体戦の醍醐味を味わうことができ、チーム全体で喜びを分かち合いました。目標として掲げている『東海大会出場』まであと一つ。とても厚い壁ではありますが、あきらめずにチャレンジを続けていきます。先輩方が残してくれた伝統を引き継ぎ、よりよいチーム作りに今後も励んでいきたいと思っております。

現在私たちは第三体育館東側にあるオムニコート二面とクレーコート一面を使って練習しています。それ以外に、JR一身田駅近くのオムニコート二面を他の部活動と交代で使用しています。施設にも恵まれ、雨天でも練習ができるありがたい環境です。OB・OGの皆様、母校に立ち寄られる機会がありましたら是非、コートまで足を運んでください。引き続き、応援よろしくお願致します。

■高校馬術部

高校馬術部は、四月に中学校より継続の四年生四名、Ⅰ年生五名の新生計九名を迎え、六年生三名、Ⅲ年生二名、Ⅱ年生一名、五年生三名と合わせ、計十八名で二〇二四年度の活動を開始しました。今年度も、前年同様に東海大会や全国大会、国民体育大会等において好成績を残せるよう、日々の練習に励んでいます。昨年度は四つの全国大会に出場しましたが、全国大会では一位で通過しましたが、全国大会では一回戦で敗

退しました。全日本高校生自馬選手権大会では、馬場・障害ともに団体優勝し、団体総合八連覇を達成することができました。個人では、全日本高等学校馬術選手権大会に二名が出場し土肥が三位となり、鹿児島国体では山下(三位)・少年リレー競技(土肥)五位・少年自由演技馬場馬術競技、濱地(八位)・少年スピードアンドハンディネス競技」と素晴らしい活躍を見せ、三重県チームの躍進に貢献してくれました。その他の大会においても、東海王座での優勝、東海新人戦での優勝をはじめ、一般の大会でも多数入賞と、好成績を数多く収めることができました。愛馬達とともに積み重ねてきた日々が、この成績に繋がっていると思います。昨年度の経験を糧として、今年も六月の東海予選、七月・八月の全国大会、十月の国民体育大会に加え、十二月の自馬選手権大会の九連覇を目指しています。一日一日を大切に、悔いの残らないよう、全力で取り組んでいってほしいと思います。

OBの皆様には日頃より多大なご支援を頂き、部員・顧問一同大変感謝しております。日々の生活、練習環境に感謝の気持ちを持ち、馬術部の目標である「日本一の馬術チーム」を目指し取り組んでいきますので、今後とも応援の程よろしくお願ひ致します。



【令和五年度 高校馬術部成績(一部抜粋)】

※旧学級での記載となります。

●みえドレッサージュホースショー

- 【一日目】
- FEIジュニアライダー馬場馬術 課目公認
- 馬場馬術競技第3課目A
- 馬場馬術競技第2課目C

- 馬場馬術競技第2課目B
- FEIジュニアライダー馬場馬術 課目公認

- 馬場馬術競技第2課目C
- 馬場馬術競技第3課目A
- 馬場馬術競技第3課目B
- 馬場馬術競技第3課目C

●二〇二三 春季三重県馬術大会

- 【一日目】
- 小障害飛越競技C-I
- 小障害飛越競技C
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A

- 【二日目】
- 小障害飛越競技C
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 二段階障害飛越競技
- 中障害飛越競技C

●第七十二回三重県高等学校 総合体育大会馬術競技

- 障害飛越競技
- 馬場馬術競技
- 障害飛越競技
- 馬場馬術競技

- 障害飛越競技
- 馬場馬術競技
- 障害飛越競技
- 馬場馬術競技

●二〇二三 SUNUKA DRESSAGE for amateur

- 【第一日】
- FEIジュニアライダー馬場馬術 課目公認

- 馬場馬術競技第2課目C
- FEIジュニアライダー馬場馬術 課目公認

●第三十四回全日本高等学校 馬術選手権大会東海地区予選

- 少年スピードアンドハンディネス 競技
- 少年二段階障害飛越競技
- 少年標準障害飛越競技
- 少年団体障害飛越競技
- 少年馬場馬術競技

- 少年二段階障害飛越競技
- 少年標準障害飛越競技
- 少年団体障害飛越競技
- 少年馬場馬術競技

●第五十七回全日本高等学校 馬術競技大会

- 一回戦
- 馬場馬術の部
- 障害飛越の部
- 団体総合

- 馬場馬術の部
- 障害飛越の部
- 団体総合

●第七十八回 国民体育大会

- 小障害飛越競技C-II
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 少年スピードアンドハンディネス 競技
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

- 小障害飛越競技C-I
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

●令和五年度東海高等学校 馬術王座決定戦

- 馬場馬術の部
- 障害飛越の部
- 団体総合

- 馬場馬術の部
- 障害飛越の部
- 団体総合

●第三十四回全日本高等学校 馬術選手権大会東海地区予選

- 小障害飛越競技C-I
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 少年スピードアンドハンディネス 競技
- 少年二段階障害飛越競技
- 少年標準障害飛越競技
- 少年団体障害飛越競技
- 少年馬場馬術競技

- 小障害飛越競技C-II
- 小障害飛越競技A
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

●令和五年度東海高等学校 馬術競技新人戦

- 馬場馬術の部
- 障害飛越の部
- 団体総合

- 馬場馬術の部
- 障害飛越の部
- 団体総合

●第五十七回全日本高等学校 馬術競技大会東海地区予選

- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 少年スピードアンドハンディネス 競技
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技C
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

●二〇二三 みえスポーツフェスティバル

- 【一日目】
- 小障害飛越競技C
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 小障害飛越競技C

- 小障害飛越競技C-I
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 小障害飛越競技C

●二〇二三 ジャンピング三重

- 【一日目】
- 小障害飛越競技C
- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 小障害飛越競技C

- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技A
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

●第五十七回全日本高等学校 馬術競技大会

- 小障害飛越競技A
- 中障害飛越競技D
- 少年スピードアンドハンディネス 競技
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

- 小障害飛越競技B
- 小障害飛越競技C
- 少年リレー競技
- 少年自由演技馬場馬術競技

○中障害飛越競技D 第三位 土肥 悠真

【二日目】  
○小障害飛越競技C 優勝 永井 智大

○STARTERCLASSII 第二位 松村 凛

○STARTERCLASSII 優勝 杉原 琉文

○小障害飛越競技B 第三位 大平 珠生

○小障害飛越競技B 優勝 松村 凛

○小障害飛越競技B 第三位 岡庭 悠真

【第一日】  
○FEIジュニアライダー馬場馬術 第二位 濱地陽菜乃

○FEIジュニアライダー馬場馬術 第三位 濱地陽菜乃

【第二日】  
○FEIジュニアライダー馬場馬術 第二位 濱地陽菜乃

○FEIジュニアライダー馬場馬術 第三位 岡庭 悠真

○馬場馬術競技第2課目C決勝 優勝 松村 凛

○馬場馬術競技第3課目A決勝 第三位 濱地陽菜乃

○馬場馬術選手権競技 第四位 永井 智大

○馬場馬術選手権競技 優勝 土肥 悠真

○障害馬術競技中障害110cm決勝 第四位 永井 智大

○障害飛越選手権競技 第三位 濱地陽菜乃

○障害飛越選手権競技 第五位 山下 泰芽

○馬場馬術選手権競技 団体 優勝 岡庭・土肥

○障害飛越選手権競技 団体 優勝 山下・土肥

○障害飛越選手権競技 団体 優勝 濱地

○団体総合 優勝 岡庭・土肥

濱地・松村

山下

○中障害C-I 第二位 濱地陽菜乃

○中障害C-I 第三位 永井 智大

○中障害C-II 優勝 山下 泰芽

○中障害D-I 優勝 永井 智大

○中障害D-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 第三位 濱地陽菜乃

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 第三位 濱地陽菜乃

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 第三位 濱地陽菜乃

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

【二〇二四 新春三重県馬術大会】  
【一日目】  
○STARTERCLASSI 優勝 杉原 琉文

○STARTERCLASSI 第三位 平野 熙慧

○小障害飛越競技C 優勝 松村 凛

○小障害飛越競技C 第二位 西岡 弘稀

○小障害飛越競技B 優勝 松村 凛

○小障害飛越競技B 第二位 西岡 弘稀

○小障害飛越競技A 優勝 松村 凛

○小障害飛越競技A 第二位 西岡 弘稀

○中障害飛越競技D 第三位 永井 智大

○中障害飛越競技D 第二位 山下 泰芽

○中障害飛越競技C 第三位 濱地陽菜乃

○中障害飛越競技C 優勝 山下 泰芽

○中障害飛越競技C 第二位 土肥 悠真

【二日目】  
○小障害飛越競技C 第三位 松村 凛

○小障害飛越競技B 優勝 松村 凛

○小障害飛越競技B 第二位 永井 智大

○小障害飛越競技A 優勝 永井 智大

○中障害飛越競技D 第三位 永井 智大

○中障害飛越競技D 優勝 濱地陽菜乃

○中障害飛越競技C 優勝 濱地陽菜乃

○中障害飛越競技C 第二位 山下 泰芽

○中障害飛越競技C 第三位 土肥 悠真

○北勢スプリングホースショー

二〇二四&東近畿地区ホースフェスティバル

【一日目】  
○中障害D-I 第二位 濱地陽菜乃

○中障害D-I 第三位 永井 智大

○中障害C-I 第三位 山下 泰芽

○中障害D-I 優勝 永井 智大

○中障害D-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 第三位 濱地陽菜乃

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 第三位 濱地陽菜乃

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

○中障害C-I-II 第三位 濱地陽菜乃

○中障害C-I-II 優勝 山下 泰芽

■高校サッカー

顧問 若林 広繁

高田高校男子サッカー部は、今年度で創部三十一年目を迎えることになりました。先日の県総体予選にて津東高校に勝利し、県総体二回戦に向けて日々練習に励んでいます。現在、三年生十七名、二年生二十四名、一年生二十七名の計六十八名で活動しています。今年度も「文武両道」をモットーに掲げ、勉学に励みながら、勝負にこだわっているチーム作りを取り組んでいます。また、チームのスローガンである「不撓不屈」を信念とし、県内の強豪校に打ち勝てるようなチーム作りを目指して日々練習に励んでいます。昨年度、男子サッカー部は三重県サッカーリーグ三部リーグ十四チーム中五位という成績となり、二部リーグ昇格はできませんでした。昨年度の悔しさを糧に、今年度の部員達もまずは「二部リーグ昇格」を目標にしています。現部員達は先輩たちの残してくれた伝統を大切に受け継ぎながら、新たな記録を築き上げるため、チーム一丸となり、全力で勝利を目指していきます。今後、今まで以上の好成績を残していけるよう指導に励んでいきたいと思えます。

高校女子サッカー選手権連覇を飾ることができました。現在女子サッカー部は小澤亮二総監督、嶋恒莉沙監督の下、二十名で活動しています。日々、全国大会出場に向けて練習に励みながら、全国の強豪チームと多くの試合経験を積んでいます。本学サッカー部は、誰からも応援されるチームになるため、チームの一員として何事も全力で勝ちにいく闘う姿勢、他者を思いやり感謝する気持ち、そして生涯サッカーを愛し続ける気持ちを大切にしながら、「全員サッカー」を発揮できるチーム作りを目指しています。高田高校の一員としての誇りを持ち、いっその努力を忘れず、部員、指導者共々日々精進していきますので、今後ともご支援ご声援の程よろしくお願ひします。

全国の舞台で戦い、改めて自分を見つめ直す良い機会となりました。今着々と力をつけております。今年度の三重県高校総体で全種目制覇、東海総体では、優勝旗奪還を目指して頑張ります。応援よろしくお願ひいたします。最後になりましたが、県総体、新人大会でお手伝いいただいた卒業生の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

顧問記

【主な戦績】

・令和五年度東海高等学校

総合体育大会 (令和五年六月 浜松市)

女子個人

2位 山村愛奈

3位 和泉陽葵

団体

2位 小菅桃奈・山村愛奈

竹尾珠希・和泉陽葵

田中一葉・藤田結莉

飯田凜

・令和五年度全国高等学校

総合体育大会 (令和五年八月 北海道)

個人

出場 小菅桃奈

・令和五年度三重県高等学校

新人なぎなた大会 (令和五年十二月 福生高校)

演技の部

2位 藤田結莉・田中一葉

3位 和泉陽葵・高士夏葵  
女子個人試合の部

優勝 田中一葉

3位 藤田結莉・高士夏葵

団体

優勝 高北 凜・高士夏葵

和泉陽葵・藤田結莉

田中一葉

・第十九回全国高等学校

なぎなた選抜大会

(令和六年三月 伊丹市)

女子個人

出場 高士夏葵・田中一葉

団体

出場 高北 凜・高士夏葵

和泉陽葵・田中一葉

小林由奈

■高校新体操部

新体操部です。本年度も部員一同、部活と勉強の両立を目指し、日々練習に励んでいます。昨年度は高校一年生の選手が北海道で行われたインターハイでは個人総合三位、埼玉県で行われた全国選抜大会では個人総合で優勝することができました。今年度はインターハイで優勝、全国選抜大会で連覇を目指していきたいと思っています。また今年度より、男子新体操が国民スポーツ大会に採用されることになりました。国民スポーツ大会では個人のみならず団体での得点も必要となります。現在はその大会に向けて団体にも力を入れて練習に打ち込んでいます。

最後になりますが、新体操部OBの皆様の心豊かな応援ありがとうございます。今後も、各種大会において、審判等のお願いをさせていただくと思いますが、その際はよろしくお願ひします。また、お時間がありましたら、第三体育館の常設フロアや大会を見に来ていただきたいと思っています。

■高校バトン部

本年度は三年生十人、二年生十九人、一年生十九人で活動しています。昨年度は大会や学校行事の他に、ボランティア活動、献血功労者表彰式、近畿高等学校総合文化祭三重県大会、その他多くのイベントに参加し演技しました。

また昨年から外部コーチを招き、バトンだけではなくボディワークや目線など、細かい点まで指導を受けています。それらを普段の練習に取り入れ、より良い演技を目指し、部員一同頑張っています。

バトン部では個人大会もあります。が、団体演技、イベントのバトン演技やチアなど、皆で一つの作品を作ることができるように部員同士が協力し合うことで仲が深まり、それが形になった時には大きな達成感が得られます。先輩後輩、同級生同士でバトンを教え合うので、皆で団結し、充実した活動を行うことができるのもバトン部の魅力です。

各大会での金賞を目標に、今後もお互いに切磋琢磨しながら、笑顔で元気に活動していきます。応援よろしくお願ひします。



■高校書道部

普段の活動は、展覧会に向けた作品制作や文化祭での書道パフォーマンスを行っています。作品制作では、半紙サイズの小さな紙から二メートル以上の大きな紙にも揮毫します。活動日には、真剣に作品に向き合う部員の姿を見ることが出来ます。

一方で、和気藹々とした様子も多く見られ、先輩後輩関係なく部員同士、非常に仲がいいことも特徴です。

昨年は、第三十二回国際高校生選抜書展(書の甲子園)にて十四名が入賞・入選し、団体の部で二年連続東海地区優勝に輝きました。また、みえ高文祭の書道部門において「特選」を受賞した生徒は、本年度の全国高等学校総合文化祭に三重県代表として出品予定です。

書道の魅力は本当に奥が深く、たとえどれだけ学んだとしても尽きるものではありません。その魅力を今後は多くの人に伝えていけるように頑張っていきたいと思っています。最後にりましたが、部員、指導者ともに日々努力を重ねていきますので応援のほど宜しくお願い致します。

■高校演劇部

二〇二三年度の報告を行うにあたって外せないのは、やはり十一年度の全国大会出場です。愛知・岐阜・三重・福井・石川・富山から構成される中部日本ブロックから一校しか出られない快挙でもあります。その軌跡を振り返っておきたいと思っています。

昨年度の大会作品は「色々々々々々々」という作品でした。生徒たちと相談し、多様性を重んじる現代にドロップキックを食らわすような、そんな作品にしようと思案しました。その作品は七月に行われた地区大会を突破、九月に行われた県大会では最優秀賞・三重県知事賞・創作脚本賞を受賞しました。二年連続三重県知事賞は史上初の快挙であり、当然二年連続トリプル受賞も初です。その結果、十二月に石川県で行われた中部日本高等学校演劇大会に出場することになり、なんと、文部科学大臣賞・全国高等学校演劇協議会長賞をダブル受賞しました。生徒たちの頑張りや報われた瞬間でした。それ以外の作品にも意欲的に取り組み、ハチャメチャなコメディをやりたいということで、三月の春季大会で「タカダジェンス」という作品を上演し、金賞を受賞しました。白山しらすぎホールが爆笑の渦に包まれ、ホールごと吹っ飛ばかと思いましたが、いや、それくらい楽しかったです。

本年度は、全国大会に向けて準備をしていくことになりました。全国大会での上演は、七月三十一日(水)一七時一〇分、岐阜県の不二羽鳥文化センターで行われます。観覧に關しては抽選となりますので、ご了承ください。また、七月二十八日(日)一四時四〇分、白山しらすぎホールで壮行公演を行う予定です(時刻は変更の可能性が有ります)。こちらはどなたでもご覧いただけます。十月十九日(土)二十日(日)に三重県総合文化センター中ホールで行われる県大会のお芝居も並行して作っていきます。忙しい

くなる一年になるかと思いますが、観客の皆様あつての演劇。いかなる上演においても、ベストの上演になるよう、鋭意稽古します。上演情報はホームページでも随時更新いたします。ぜひ会場までお越しくださいませ。

■高校仏青インターアクト部

「繋がり大切さ」

私たち仏青インターアクト部は、三年生十九人、二年生四人、一年生十八人で活動をしています。活動内容は、仏教行事の準備や募金活動、地域の行事のお手伝いなどです。

昨年度の活動例としては、「第二十六回三重県障がい者スポーツ大会フライングディスク」(社会福祉法人三重県厚生事業団主催)や、今年一月一日に発生した能登半島地震に伴う「日本赤十字社令和六年能登半島地震災害義援金」への協力です。

「第二十六回三重県障がい者スポーツ大会フライングディスク」では、私たちは、計測・記録の補助や、招集・引率などを行いました。フライングディスクという競技自体初めてで当初は緊張していたのですが、大会役員の方々からの丁寧な説明のおかげで、安心してお手伝いすることができました。前日からの準備や、当日も暑い中での活動でしたが、選手の方たちと一緒に私たちが楽しんで活動に参加する事ができたので良かったです。

次に、「日本赤十字社令和六年能登半島地震災害義援金」の活動では、高校生徒会と連携し、校内だけでな

津駅東口でも募金活動を行いました。この活動に関連してその後に行われた、「令和六年能登半島地震被災地の今一活動報告・わたしたちができること」にも参加させていただきました。この報告会では、現地へボランティアとして参加した方々の貴重な体験を聞かせていただきました。

これらのことを通して人と人との繋がりが思いやりの気持ちの大切さについて改めて考えさせられました。現在、コロナ禍からは次第に脱却してきており日常に戻ってきました。その今だからこそ人との繋がりを大切にしたいと思います。

これからも、様々な経験を通して成長する事ができるように部員一同で頑張っていきます。

#### ■高校将棋部

高田高校は、四月二十七日、二十八日に行われた第六十回全国高等学校将棋選手権大会三重県予選において、男子団体戦で優勝、女子団体戦で優勝、女子個人戦で準優勝を果たし、八月一日から岐阜県で行われる全国大会に出場することが決まりました。全国大会に出場する生徒は全国大会で入賞することを目標に日々の練習に取り組んでいます。

将棋部の活動は、放課後二時間程度の練習を行っています。男子部員は有段者が多く、試合で勝つことを目標に切磋琢磨しています。全国大会への出場を目指し、実践形式の練習を中心に、楽しく部活動に取り組んでいます。

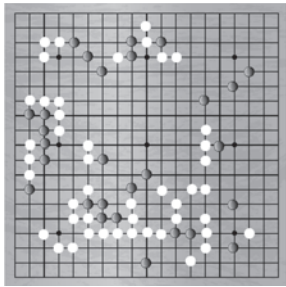
将棋部は多くの新入生を迎え、生

徒、指導者共々精進していきますので、将棋部の活動を応援していただきますようお願いいたします。

#### ■高校囲碁同好会

高田高校は、五月三日、四日に行われた第四十八回全国高校囲碁選手権大会三重大会において、女子団体の部で優勝、女子個人の部で準優勝しました。優勝したメンバーは七月二十二日から東京都で行われる全国大会に出場することが決まりました。また、個人戦で準優勝した生徒は、八月三日から岐阜県で行われる全国大会に出場することが決まりました。全国大会に出場する生徒は全国大会で入賞することを目標に日々の練習に取り組んでいます。

囲碁同好会の活動は、放課後二時間程度の練習を行っています。有段者は少ないですが、多くの新入部員を迎え、楽しく部活動を行っています。生徒、指導者共々棋力の向上、上位大会への進出を目指し精進していきますので、囲碁同好会の活動を応援していただきますようお願いいたします。



## 国際交流委員会

眞岡 康 光

本校の国際交流の歴史は、平成六年度にオーストラリア・メルボルン近郊にあります姉妹校パレード・カレッジ、セントモニカ・カレッジへ生徒を引率し交流したのが始まりでした。当時の海外研修は概して「異文化体験」を中心にしたものが県内外で多く見られた時期でもありました。その後、本校はセントモニカ・カレッジとも姉妹校提携を結び、両校と留学生の交流を三十年間続けてまいりました。

が盛んにおこなわれ、留学学校を選択する際に「日本人の留学生がいない学校」をリクエスストすることはできないと言われるほど、日本人の高校生・大学生の留学生がどこにでもいるのが近年の状況です。このような状態を見聞きすると、教育現場でどのようにグローバル教育を推進するかを未来を見据えつつ考えていなければならぬと思います。

さて、本校の国際交流教育委員会では、本校の生徒たちにグローバル教育を少しでも体験して欲しいという方針から、様々な新しい取り組みをおこなってまいりました。まず、平成二十七年にイギリス語学研修プログラムを導入しました。このプログラムは、イギリス認可の語学学校のプログラムに参加し、他国籍の生徒と共に英語を学ぶ研修です。生徒は、初日のレベル分けテストの結果によって自分の実力と同レベルの他国生と英語の授業を受けることとなります。さらに、様々なアクティビティにも参加することができ、座学だけでなく英語を学ぶ多くの機会が準備されているのが特徴です。ホームステイ先にも、ルームメイトとしてスペイン・イタリア・ロシア・セルビアなどの他国の生徒がいることもあり、英語のブラッシュアップだけでなく、英語圏以外の国の文化を知る貴重な経験を得ることが出来ます。

日本の大学や大学院に留学している他国の学生を高田中・高等学校に招き、世界で問題になっている様々な事象について、ディスカッション・デイベイト・プレゼンテーションを英語で行うものです。研修日程は三日間ですが、生徒の英語運用能力のブラッシュアップと、時事的な事象について掘り下げて議論することによる大きな教育効果が見込まれるプログラムです。実際、大学の英語の授業は、英語をツールとして運用力を鍛えるタイプの授業が多く、ペーパーテストの得点だけ優秀な生徒が大学に入ってから授業で苦労するという話をよく聞きます。本校の生徒にとっては、このプログラムを通じて濃密な経験を得ることが出来ます。

次に、グローバル・スタディーズ・プログラム(旧エンパワーメント・プログラム)です。このプログラムは、

新規コロナウイルス感染症蔓延のため、ここ三年間海外研修を中断せざるを得ませんでした。その間オンライン交流会を行いました。令和五年度はイギリス語学研修はまだ再開できませんでしたが、代替のプログラムとしてカナダ(バンクーバー)語学研修を令和五年度限定で行い二十八名が参加しました。オーストラリア交換留学プログラムについては四年ぶりに再開し、二十七名の生徒が訪豪し貴重な体験をすることができました。そして、新たな取り組みとして、令和六年度には、中学三年生を対象として、チーム留学プログラムを行うこととなります。

「ターム」とは「学期」という意味で、令和七年一月から三月までの中期の留学プログラムです。短期の海外研修は、それ相応の良さがありますが、このターム留学では、現地校にアジャストする力やコンピテンシー能力を養成する上で重要なものと位置づけられます。第一期生は、ニュージーランド・オークランド近郊の四校へ留学することが決定しています。今後も本校では、生徒たちが世界へ目を向けるプログラムを実施し、英語力向上だけでなく、視野を広げる深い国際理解教育も実践していきたいと考えます。

# 短大だより

## 令和5年度の進路状況について

キャリア支援センター

樹心同窓会の皆さまには、平素より学生の就職活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和五年五月八日に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、社会はようやく平常を取り戻すことができました。社会経済活動の正常化に伴い、就職活動もコロナ以前の状況に戻ってきましたが、学生の社会への関与や就労意識に落とした影は否めず、積極的に就職活動を行って「就職先を選択できる学生」と「就職先から選別される学生」に二極化しつつあります。さらに、卒業までに就職先を決めることに拘らず、学生時代のアルバイトを続けながらやりたい仕事を探す学生も増えています。さて、令和5年度卒業生の三月末進路状況についてご報告します。

### 令和5年度 国際交流教育活動

オンライン交流会	R5、7月21日・24日	高校生58名参加
エンパワーメントプログラム	R5、12月22日～24日	中3・4年31名参加
オーストラリア交換留学(訪豪)	R6、3月15日～28日	高校生27名参加
カナダ語学研修	R6、3月17日～4月1日	高校生28名参加

全体では、卒業生236名(昨年度274名)に対して、就職希望者229名(同265名)、就職決定者224名(同265名)、未内定者は5名(同なし)、就職率97・8%(同100%)となりました。また、県外への就職は5名(同11名)と減少し、県内就職率は97・8%(同

95・8%)となりました。なお、進学者は2名(同2名)、家事従事・アルバイト等は5名(同7名)でした。次に学科別の状況についてご説明します。

◇子ども学科  
卒業生151名(昨年度185名)のうち、幼稚園に11名(同9名)、保育所に75名(同105名)、認定こども園に32名(同36名)、児童養護施設に16名(同14名)、障がい者支援施設に5名(同10名)、公務員(事務)を含む一般企業等に6名(同3名)がそれぞれ就職しました。進学者が1名(同1名)、家事従事・アルバイト等が3名(同7名)で未内定は1名(同なし)、就職率は99・3%(同100%)でした。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇短大部会だより  
新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス等の感染症の流行は、幼い子どもたちの日常に大きな変化をもたらしました。新型コロナが5類感染症指定になってから一年。最近ようやく、マスクを着用されている人が少なくなってきました。そのような中、京都大学大学院教育学研究科の明和政子教授は、マスク着用が「顔が見えないことによる赤ちゃんの学びの危機」と、警鐘を鳴らし、赤ちゃんや幼い子どもたちが、マスクで顔を覆い隠すことに

求人状況については、本年度、保育所・幼稚園・児童養護施設から912人(同1,033人)、一般企業から760人(同553人)、福祉(老人・障害)施設から251人(同202人)の求人がありました。依然、保育関連、企業、福祉施設とも全体としては売り手市場の状況に変わりはありませんが、冒頭述べましたように、個別で見ると厳しい状況にある学生は増えている印象です。結びに、社会に出た後輩たちを引き続き暖かく見守り、厳しくご指導賜りますようお願い申し上げます。キャリア支援センターからの報告といたします。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇キャリア育成学科  
卒業生27名(同24名)のうち、1名の進学(同なし)を除いた就職希望者26名は、老人介護施設に25名(同19名)、一般企業に1名(同1名)が就職し、就職率は100%(同100%)でした。本年度は障がい者支援施設(同4名)への就職はなく、また、家事従事・アルバイト等も昨年度同様ありませんでした。なお、卒業生のうち、外国人留学生は15名(同17名)でした。

◇短大部会だより  
新型コロナウイルス、インフルエンザウイルス等の感染症の流行は、幼い子どもたちの日常に大きな変化をもたらしました。新型コロナが5類感染症指定になってから一年。最近ようやく、マスクを着用されている人が少なくなってきました。そのような中、京都大学大学院教育学研究科の明和政子教授は、マスク着用が「顔が見えないことによる赤ちゃんの学びの危機」と、警鐘を鳴らし、赤ちゃんや幼い子どもたちが、マスクで顔を覆い隠すことに

堀内 由香里

よって「喜怒哀楽といった感情を学ぶ機会が急激に減っているのは確かだ」と、危機感をもって研究を進められてみえます。

同窓生の皆様方は、公私ともに様々な場面で、日々、子どもたちと接する機会も多いと思います。幼い子どもたちが感染症の荒波を乗り越え、健やかでたくましく成長できるように、同窓生が手を取り合い、繋がって行く中で、幼い子どもたちにとって明るい未来が広がっていくように、同窓生皆様の力で支えていければと願っております。

さて、短大会では、平成八年度より二十八年間に渡り、短大会を支えていただいた北端先生が職責を全うされ、令和五年度末で退任されました。「高田短大祭での同窓会バザー」「会員が同窓会を開催するときの補助事業」「高田短大五十周年記念の寄付」等、多くの事業を計画し、推進していただきました。

令和六年度は新しい役員も加わり、役職も一新しました。これまで樹心同窓会短大会が大切にしてきた「笑顔で集う同窓会」が数多く開催されますことと、それを支援できる事業を今後も展開していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

## 祝全国大会入賞

インターハイ三位入賞！

新体操部 1年E組 山本 響士朗

インターハイという大きな舞台で三位という結果を取めるができ、嬉しく思います。今大会では演技順が早いこともあり、練習の段階から大会の日を想定して早朝から体が動くように練習をしたり、普段の大会よりも一種目と二種目の演技の間隔が短いというインターハイの形式に慣れるための練習をしたり、様々な準備をして大会に臨みました。その努力が実を結び、大会当日では練習以上の良い演技をすることができました。納得の演技が出来たこともあり、嬉しい気持ちもある一方で、優勝を目指して今大会の練習に取り組んでいたのが悔しい気持ちも大きいのが事実です。現時点での自分の実力が分かる大会になりました。この悔しさを糧にし、いつも支えていただいている先生方や家族、部員に感謝の気持ちを持って、次の全日本選手権に向けて努力していきたいと思えます。全日本選手権では成長した姿ではなく、進化した姿を見せられるように頑張ります。

中学なきなた部 武田 清奈

七月に行われたJOCジュニアオリンピックカップ第三十一回全国中学生なぎなた大会試合競技個人女子の部で五位に入賞することができました。

実は、大会二週間前の県選手権で優勝することができず、悔しい思いをしました。日頃、目標にしている先輩方が全中大会で優勝したり入賞したりされており、自分も県選手権優勝を果たして全中優勝を狙いたい、と思っていました。その最初の段階でつまづく形になって、悔しさを抱くと共に、一から自分を見直す必要を痛感しました。先生・先輩からアドバイスをいただき、同級生・後輩に支えてもらい、大会まで練習を積みました。本当に多くの人のおかげでこの大会に臨むことができました。五位入賞で、感謝を伝えることができました。とても嬉しいです。

ただ、五位は嬉しいけれど、悔しい結果でもあります。この結果に慢心せずに稽古に励み、インターハイでは優勝できるように仲間と共に頑張りたいと思います。

### 「感謝を胸に」

馬術部 土肥 悠真

馬術部に入部してもうすぐ六年目になろうとしています。私は、当時高校二年生だった先輩が国体で入賞されたこともあって、中一の頃から国体での入賞を目標に頑張ってきました。

した。日々の練習ではたくさん失敗し、たくさん落馬してきました。不甲斐ない時も、必ずそこには頑張ってくれている馬がいました。だからこそ「馬も頑張ってくれてるから自分も頑張ろう」と立ち上がることができました。高い目標をもって頑張った結果、八月に全日本高等学校馬術選手権大会で三位に入賞し、そして十月、念願の本国体に出場することができました。国体では、今まで私を乗せてくれた馬たちが背中を押ししてくれている気がして、のびのびと演技をすることが出来ました。そして、馬場馬術自由演技課題で五位入賞することができました。これらの結果は応援してくださったOBの方々、毎日支えてくれる両親、そして何より顧問の先生方のご指導の賜物です。この感謝の気持ちを忘れず、これからも練習に励み、今年も全国入賞を目指して頑張ります。

### 「仲間とともに」

馬術部 山下 泰芽

高校に入ってから憧れだった国民体育大会で入賞できたことをとても嬉しく思います。入賞できたのは、日々指導してくださる顧問の先生、いつも周りで応援し、支えてくれるチームメイト、家族そして一緒に出場する馬の存在があつてこそだと思います。夏のインターハイ団体戦、個人選手権ともに悔しい思いをし、上手いかなことも沢山ありました。しかし、そんな時、いつも

側で支えてくれたのはチームメイトでした。どんな時でも前向きな言葉をかけてくれ、自分に自信を持たせてくれました。苦しいこと、辛いこと、嬉しいこと、楽しいこと、どんなことも仲間がいたから乗り越えることができました。そんな仲間と一緒に国体で入賞できたのは一生の思い出です。今年の三位という結果は嬉しい反面、悔しい気持ちがあるのです。来年は今年以上の結果を出します。高校最後の一年、インターハイと個人選手権でも優勝できるように、そして国体を悔いなく終われるように頑張ります。

### 「鹿児島国体を振り返って」

馬術部 濱地 陽菜乃

「62秒62、引退競走馬が今、トップタイムを立ち上げました！」ゴールを切った時、胸が震えました。

私が高田中学校に入学し、初心者で馬術部に入部してから五年が経ちます。人馬一体となり競技に挑む馬術はとても難しく、悔しいことも沢山ありました。上手になりたい一心で走り続けてきました。今回、鹿児島国体出場チャンスを頂き、結果を出して三重県に貢献出来るよう、一生懸命練習に励んできました。一番、ゴールを切った時に笑顔でガッツポーズをされる監督とコーチ、TEAM M三重の選手の皆さんの姿が見えて、涙が溢れたのを覚えています。私の五年間が詰まった、62秒間の愛馬ジェラルド・ピケとの走行は八位





に入賞することが出来ました。根気よくご指導して下さいました監督、コーチ、TEAM三重の選手の方々、馬術部の仲間、家族、そして何より愛馬ビケ、本当にありがとうございます。来年は六年生になり高田馬術部では最後の年になります。感謝の気持ちを忘れず、仲間と共に切磋琢磨しながら夢を追い続けていきたいと思えます。

「まだまだこれから先へ」

馬術部 真川 葵衣

私がこの「燃ゆる感動かごしま国体」で入賞することができたのは、三年前から始まった三重とこわか国体強化合宿で、二名の元オリンピック選手コーチの熱血なご指導を受けることができたことや、乗馬クラブで教えて貰っている先生、関係者の方々、切磋琢磨してきた仲間のおかげであり、何よりパートナーである馬のおかげだと思っています。惜しくも開催県の国体は叶わなかったですが、その悔しさを胸により一層日々の練習に取り組んできました。合宿の初めの頃と今を比べると出来ることが確実に増え、技術面だけでなく合宿への取り組み方、馬への関わり方、メンタル面の強化、自分自身も勝負強くなったと思います。練習では上手くいくことが少なく、今までにないほど難しいことにたくさん挑戦してきました。落ち込んでいた時には仲間と支え合い、ここまですり詰めることが出来ました。私

は将来乗馬インストラクターになり、馬術の魅力をもっと色々な人に知ってもらいたいです。そして自分自身も選手として活躍できるような人になりたいです。

「文芸」という青春

文芸部 二年E組 治田 優花

私が高田高校に入学した一つの理由として文芸部の存在があります。中学生の頃から創作活動を始めて、文芸が趣味となりつつある中、高田高校の文芸部が強豪であるということとをたまたま耳にし、受験を決めました。

文芸部に入った初期の頃は、既成の輪の中に入るのがとても難しく感じ、同い年のメンバーにも敬語を使っていたくらいです。しかし、全国大会出場に向け、互いに切磋琢磨する中で、次第に打ち解けていき、メンバーのみんなや先生方、指導してくださった先輩方のお陰で入賞が叶いました。ある時は、歌詰めで夜の八時まで学校に残っているようなこともありました。しかし、その時間は私にとってかけがえのない宝物であり、青春だったのだと今では振り返ります。

好きなことを追いつける苦しさや難しさはありますが、私はこれから文芸を続けていきたいと思っています。おこがましいかも知れませんが、いつか私の作品が、誰かの支えになる日が来ることを願っています。

〈話題作品賞受賞作品〉

題…スマホ

腹べこな

スマホは大きく口を開け

「かくれんぼ」すら概念となる

攻めた走りを

陸上競技部 杉本 憲亮

中学生の時、全中陸上大会に出場するという目標がありました。達成できませんでした。その悔しさをバネに、「高校では絶対にインターハイに行くんだ」という気持ちを常に持ち、練習に励みました。

二年生になり、練習の成果が出て記録が伸び、インターハイに出場できました。

二年生になり、練習の成果が出て記録が伸び、インターハイに出場できました。

予選では自分の力通りの走りでしたが、決勝に駒を進め、「失敗を恐れず、思い切つて」ということを強く胸に刻み、七位入賞することができました。

この結果は自分一人では絶対に掴むことができなかつたです。日頃から乙部先生をはじめとした顧問の先生方や家族、仲間の支え、また友達や先輩・後輩からの応援があったからこそその入賞だと思います。来年はインターハイで優勝し、結果で恩返しができるよう、これからの練習も精進します。

「三三同窓会」

昭和四十年卒業

豊田 碩 康



性二名が参加してくれました。

会場では開催ごとに拝顔できる喜びとともに毎回若かりし頃の思い出話を繰り返している状況です。また、年齢が増すことで体調の変化があり、懇親会の話題も学生時代や家族関係ほか先に旅立った学友のことや健康面の内容が多くなってきた気がします。

この先何年続くかわかりませんが、会の締めとして「この催しは毎年健康で開催できることを祈り再会を約束して」終了いたしました。

六十五緑寿同窓会

短大昭和五十四年卒

堀内 由香里

短大保育科十二回生は、五年毎に同窓会を開催しています。今年度は六十五歳、数えの緑寿にあたる

私達は昭和四十年三月(一九六五年)に高校を卒業しました。今までも有志懇親会と称される各地域・各種の同窓会が開催され自主的に参加してきたところですが、今回「三三同窓会」の事業を会報で知り「四樹会(よんじゅかい)」と呼称して計画した次第です。

私たちは数年前から(コロナ禍除く)四日市在住者を中心に有志懇親会を開催してまいりました。

今回も令和五年十一月に近鉄四日市駅前集合し会場へと向かい、卒業してから五八年を経過しており参加者の事情から今年度は男性六名・女



ことから、「六十五緑寿同窓会」を開催いたしました。恩師の杉山先生、堀先生、中湖先生のご臨席を賜り、三十名の同窓生が集まりました。短大を卒業して四十五年経ち、短大時代の思い出話に花を咲かせたり、現況を報告し合ったりして楽しいひと時を過ごしました。先生がおっしゃった「健康に過ごせるのは八十歳までだから、今のうちにしたいことを存分にしておいてね」というお言葉が大変印象的でした。先生方のように、はつらつと毎日を過ごすことができるように、先生方を大学の恩師だけではなく、人生の師として背中を追い続けていきたいと思えます。今回は三年後に開催予定です。また、今回のように楽しい時間を、懐かしい先生や友と一緒に過ごすことを、今から楽しみにしたいと思います。

### 喜寿同窓会

昭和四十年年度高田高等学校卒  
栗 眞 恵 光

昭和三十八年四月、真新しいセーラー服と丸刈りに詰襟学生服の我々が出会ってから半世紀以上の六十年を経る。当時の美少女、美少年の群れは十二クラスの六〇〇数十人で団塊の世代を牽引し「君たちが二十一世紀の旗手だ！」と言われたが何と！社会に出た途端、高齢化社会のお荷物」と揶揄され出した。何とも早や苦笑せざるを得なかった。



昭和40年度卒高田高等学校 有志会 令和5年11月11日 於 プラザ洞津

喜寿とは、元來数え年で迎えることから、今年七十六才になる我々は喜び寿いでもらえる歳になったことになる。あれから六十年！

紅顔の美少女、美少年達は、些かトウが経ったとはいえ、刻まれた皺に難関を乗り越えてきた力強さと、自身の深さが滲み出てこの上なく誇らしく思えた。

既に年金生活が始どの我々には、六〇〇余人もの仲間以案内状を出せるほどの力量もフットワークも無いので、友達の友達のみな友達作戦を、携帯電話を主として駆使した結果、何と恩師お二人を含めて五十五名もの参加者を迎えることができた。柘植宗隆先生村山喜美子先生には、ご高齢にも関わらず会場に



### 短大第一期生同窓会を終えて

短大昭和四十三年卒  
幹事一同、倉谷 博美

までお運び下さり、懐かしい昔話を語って頂き感謝に堪えないところであった。恒例の二次会も、高齢を理由に同施設内で場所を移して行った所、半数が参加され、時間が経つに従って、お酒も行き渡りカラオケに興じる喜寿の面々は明らかに六十年の昔を生きているように感じた。

令和五年十一月二十二日、錦秋の良き日に、高田短期大学第一期生の同窓会を、津市の料亭「坐忘庵」でひらきましたところ、十七名の同窓生がつどいました。

コロナ禍もあつて六年ぶりの開催となり、まずその間に亡くなられた方々のご冥福をお祈りして黙祷を捧

げました。

もうすぐ喜寿を迎える私たちは、おいしいお料理をいただきながら、互いに旧姓で呼び合ったり、近況報告に花を咲かせたりしているうちに、楽しく懐かしい学生時代が呼び起こされるように感じられました。

母校の誇りとともに、またこれからも素晴らしい友と「ほっこり」した時間を過ごせますよう、次回はさらに一人でも多くの皆さんが参加していただけるようお願いながら、またの再会を約束しました。

### 【新春の宴二〇二四】

中学三年コース 昭和五十年卒業  
草川(平子) 知美

二〇二四年の暮があがり、三日目の日が暮れた頃『新春の宴』は始まりました。

初春の喜びと再会の嬉しさが溢れ、満面の笑顔で『乾杯』です。長い間コロナ禍による自粛が続き、堂々と乾杯ができる今日の日を、どれほど待ち望んだ事でしょう。

私たちの世代といえは・・・こんなに増えなくて良いのに、どんどん蓄積されてしまう『しわ』ずっと傍にいて！とお願ひしているのに、逃げて行ってしまう『髪』こちらへ近寄って来ないで！と言ってるのに、いつの間にか集まってくる『脂肪』だけど・・・十分も語りあったら、ナント！坊主頭に学生服&セーラー服』の装い気分です。



中学を卒業してから各々の道を歩み、還暦を過ぎた今に至るまで、ビジネス・プライベート共に、膨大な数の方々と出会い語りあつてきた事でしょう。しかし、三年間机を並べた『一〇〇人の仲間』だけは、特別です。こんな風に心許して語りあえ、明日への望みを分かちあえる『宴』を開ける事に感謝です。

仕事かひと段落する頃を迎えたら、魅力的な『集い』ができたらイイネ！仕事や趣味で知りえた知識を『一〇〇人の仲間』に、お披露目する『おもしろ講座』もちろん、こだわりの銘菓や珈琲と共に。

『モウイチド修学旅行』があつても、良いのじゃない？いつの日か、老人押し車を連ねて『遠足』なんていう日が、やってくるのかしら？生涯、大切な『一〇〇人の仲間』末永く、宜しくお願ひいたします。

### 高田中学六年コース 十四期生同窓会

昭和五十八年中六卒業  
古川 達也



二〇二四年一月二日(火) ホテルグリーンパーク津を会場に、高田六年コース十四期生の同窓会を四年ぶりに開催しました。本会をオリソピックイヤーの正月に開催してきた関係で、偶然とはいえ、丁度コロナ禍をかくぐる形になりました。

私たちが六年間お世話になった担任のうち、福島和代先生は高齢のため残念ながらご欠席となりましたが、因信先生をお迎えして総勢三十四名での会となりました。

因先生の、お若い頃と変わらないユーモアあるご挨拶と、久しぶりの参加となった樋口幸紀君の乾杯から宴は始まりました。今年、多くの同

級生が還暦を迎え、年齢相応の姿形になっていく上に、話題も健康上のことが多くなっていますが、中高六年間を一緒に過ごしたメンバーが集まれば、心だけは一気に高校生に戻れたような気がしました。最後は眞岡康光君に宴を締めくくってもらった上で、今後も四年おきの開催を続けていく事を約束して散会となりました。

### 高田中等学校五十三期同窓会

(同窓会開催日 二〇二四年一月六日)  
中学六年コース二〇三年卒業  
成尾 和真

六年間育った高田中等学校を卒業し、早二年、二十歳の節目の年となった記念に同窓会を開催させていただきました。場所は慣れ親しんだ津駅のすぐ横のホテルグリーンパーク津で開催する運びとなりました。五月中に予約にいったにもかかわらず、三重県内の多くの市で成人式が行われる一月七日の予約はすべてうまっております、その前日の一月六日の開催となりましたが、高田中学校の入試が翌七日であり幸運にも先生方にも参加いただけることになりました。このような会の幹事をさせていただく経験はなかったため、準備や会費の回収などにてこずりながらもLINEなどのお陰で同窓生との連絡が密にとれ、当日はお誘いさせていただいた先生方も含めて、なんと一三六人もの方に参加いただくこと

ができました。当日は受け付けや進行も順調に進み、時間がたつのがとても早く感じるほど濃厚なものとなり、企画したくじ引き大会も成功に終わりました。仲が良すぎるあまりホテルから出るのがギリギリとなってしまいました。そのぐらい盛り上がりもあってもらえてとても幹事冥利に尽きました。幹事としては、準備はとても大変なことも多く、次回はほかの人に頼もうと思っていました。もし十年後、皆が三十歳になった時に同窓会をするのならまた引き受けてもいいのかなと思います。



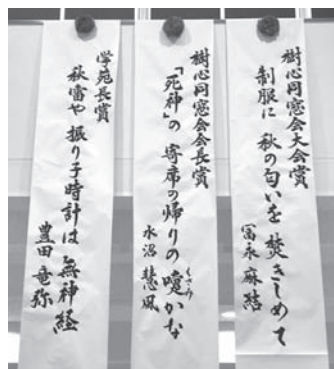
## 会員交流会

### 〈第一回高田学苑俳句大会〉

審査委員長に山崎満世先生をお迎えし、俳句大会が催されました。在校生、保護者、卒業生より四十九名六十八句の応募がありました。

### 大会賞、会長賞、学苑長賞の選評

山崎 満世



### 制服に秋の匂いを焼きしめて

富永 麻結

古来の日本には衣服に香を焼きしめるという文化がある。作者は制服に青空の香、稲の香、草花など大自然の香を焼きしめているようだ。秋を満喫している。こんな制服なら楽しいだろう。

### 「死神」の寄席の噺かな

水沼 慧風

古典落語に「死神」がある。死神とある男のほろ苦い駆け引きの中で自分の寿命の短さを見る話。そんな寄席からの帰り道、ふと大きな噺(く

しゃみ)をして作者は現実の吾に戻る。噺の季語に俳諧性が宿る。秋雷や振り子時計は無関心

豊田 竜弥

雷は夏のものであるが、秋の雷は稲の生育に関連して稲光、稲妻などと呼ばれる。しかし壁の振り子時計はそんな雷鳴には関係無くコソコソと時を刻むのみ。雷鳴のさなかの作者の冷静な視線がいい。

### 〈第二回樹心カップ〉

#### 優勝の挨拶

高校昭和五十六年卒  
中 森 英 夫

十二月六日に、青山高原カンントリークラブにて、第二回樹心カップが開催されました。前回同様、十二月とは思えない暖かさになり、楽しくまわられた事が、二年連続優勝の要因になったのではないかと思っています。

コロナも五類へと移行となり、プレー後は、参加者の皆様との歓談もあり、親睦を深められる一日となりました。次回の樹心カップも多くの方に参加していただける様、楽しみにしております。



令和6年度

高田学苑樹心同窓会総会

令和6年8月4日(日) 午後3時~6時

総会 ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内) 6階 中宴会場

懇親会 ホテルグリーンパーク津 (津駅前アスト津内) 6階 大宴会場 (伊勢の間・安濃の間)

会費 3,000円



HP内「総会ご出席フォーム」より申し込みができます

- 総会・追弔会
○懇親会
○駒田 早代 (津軽三味線奏者)

※お車でお越しの方はアスト駐車場をご利用下さい。
※お酒が出ます。飲まれる方はお車での参加はご遠慮下さい。

ご受賞おめでとうございます

高臣文祥様 (元高田学苑理事長)

旭日小綬章受賞

松田英明様 (中6昭和45年卒)

旭日双光章受賞

ミニ同窓会

事務局だより

令和五年度は、十四のグループ四三三人の同窓の方々がミニ同窓会で補助金利用をしていただき、幹事様より集合写真や事後報告等を送付していただきました。
スペースの都合上、すべてのグループの皆様を樹心会報に掲載できなかったことをお詫び申し上げます。今後ミニ同窓会を大いに応援させていただきますので、ふるってご利用していただきますようお願いいたします。

会員交流会

七月~十月 俳句大会
十二月五日(木) 第三回樹心カッパ

高田学苑樹心同窓会HP



村田 英華 (中・高)
海老原 寛
中川 拓慶
安藤 夢乃

中山 焯 (短大)
山寶 来昌
海住 敬之
服部 信章
宮崎 優行
前田 明子
杉谷 哲也

令和5年度退職教職員

ふるさと津かがやき寄附

『三重短期大学及び私立学校応援分』

の寄附募集の開始

令和4年4月26日より津市のふるさと納税では、ふるさと津かがやき寄附「三重短期大学及び私立学校応援分」の寄附募集が始まりました。これにより、津市以外の居住の方が津市内の短期大学及び私立学校を指定して寄附ができるようになりました。この制度を利用して高田短期大学、高田高等学校の応援をよろしくお願いいたします。寄付金につきましては、教育環境整備事業に活用させていただきます。

詳細は津市のWEBサイトをご覧ください。

津市-ふるさと津かがやき寄附(ふるさと納税) city.tsu.mie.jp

訃報

※経年のご連絡分も含みます

Table listing names and details of deceased members, including names like 池野昭安, 佐川康昭, 吉川男, etc., with their birth dates and school information.

\*ホームページアドレス http://www.mie-takada-hj.ed.jp/jushin2/

\*メールアドレス office-jushin@mie-takada-hj.ed.jp

\*協力金振込口座 (1口 1,000円) ゆうちょ銀行 口座番号、記号 00870-1-125341 高田学苑樹心同窓会